

資料2

新潟市教育ビジョン第3期実施計画  
～NEXT&NEW～

令和元年度 施策中間評価

令和元年11月19日

新潟市教育ビジョン推進委員会

## 新潟市教育ビジョン令和元年度施策中間報告 施策一覧

基本施策(13施策)	施策(54施策) 網掛…【NEXT】&【NEW】に該当する施策		3期進捗 平均評価	担 当 課 (◎とりまとめ課、○関係課、※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料 頁			
				総務	学務	施設	保給	地教推	学人事	教育職	支援	図書	生セ			中公	総セ	
1 確かな学力の向上	1-1	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進	【NEXT】									◎			○	☆	1	
	1-2	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進										◎					3	
	1-3	基礎・基本を身に付ける教育の推進	【NEXT】	4.3				○				◎					☆	5
	1-4	アグリ・スタディ・プログラムの推進	【NEXT】									◎					☆	7
	1-5	学習習慣の定着										◎						9
	1-6	読書活動の推進と新聞活用の充実	【NEXT】						○		○	◎					☆	11
2 豊かな心と健やかな 身体の育成	2-1	いのちの教育・心の教育の推進										◎			○		13	
	2-2	一人一人の成長を促す生徒指導の推進	【NEXT】									◎				☆	15	
	2-3	体験活動・ボランティア活動の充実										○		◎			17	
	2-4	文化・芸術活動体験の推進										◎			○		19	
	2-5	体力づくりの推進										◎					21	
	2-6	健康づくりの推進						◎									23	
	2-7	食育の推進						◎									25	
	2-8	青少年の健全育成の推進						◎									27	
3 創造性に富み、世界 と共に生きる力の育成	3-1	地域学習の充実															29	
	3-2	外国語教育・国際理解教育の充実	【NEW】									◎				☆	31	
	3-3	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組	【NEW】									◎				☆	33	
	3-4	主体的な取組を促す環境教育の推進						○				◎			○		35	
	3-5	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進	【NEW】									◎				☆	37	
4 共生社会の実現を 目指すインクルーシブ 教育システムの推進	4-1	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進	【NEW】									◎				☆	39	
	4-2	特別支援教育のサポート体制の推進										◎					41	
	4-3	早期からの就学相談・支援の充実	【NEW】	5.0								◎				☆	43	
5 校種間・学校間連携 を活かした特色ある 学校・園づくり	5-1	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組	【NEW】					◎				※		○		☆	45	
	5-2	幼児教育の充実と幼保小連携の推進	【NEW】					※				◎				☆	47	
6 人権を守り共に支え 合う社会の推進	6-1	人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進										◎		○	○		49	
	6-2	交流・体験活動の推進													◎		51	
7 家庭教育の充実と子 育て支援	7-1	家庭教育充実への支援										※			◎		53	
	7-2	子育て支援の充実													◎		55	
8 生涯を通じて学び育 つ学習機会の充実	8-1	主体的な学習を支えるシステムづくり												◎			57	
	8-2	学び育つ各世代への支援	【NEXT】										○	◎	○	☆	59	
	8-3	地域における生涯学習活動への支援													◎		61	
9 地域と学校・社会教育 施設が協働する教育 の推進	9-1	地域と共に歩む学校づくりの推進	【NEXT】									◎			○	☆	63	
	9-2	広報広聴活動の推進						◎									65	
	9-3	学校・地域・NPO等の協働の推進							◎					○			67	
	9-4	高等教育機関及び企業との連携推進	【NEW】									○	○	◎		☆	69	
	9-5	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画										◎			※		71	
	9-6	市民の生涯学習施設運営への参画												◎	○		73	

基本施策(13施策)	施策(54施策)		3期進捗 平均評価	担当課 (◎とりまとめ課、○関係課、※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料頁									
	網掛…[NEXT]&[NEW]に該当する施策			総務	学務	施設	保給	地教推	学人事	教育職	支援	図書	生セ			中公	総セ							
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1	防災・安全教育の充実 [NEW]															◎	☆	75					
	10-2	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進															◎		77					
	10-3	安全な学校施設					◎												79					
	10-4	学びを支援する体制の整備と充実 [NEW]								◎							○	☆	81					
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-1	効果的な指導を支援する施設設備の充実 [NEW]															◎	☆	83					
	11-2	コミュニティの拠点としての学校整備															◎		85					
	11-3	学校施設の整備															◎		87					
	11-4	生涯学習施設を核とした学習環境の整備															◎	○	89					
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-1	教育関係職員の研修プログラムの充実 [NEXT]																※	○	※	◎	☆	91	
	12-2	教職員への支援体制の充実																◎					93	
	12-3	信頼される教職員の採用・登用・配置																◎					95	
	12-4	教育関係職員の人事管理の適正化																◎					97	
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-1	新潟らしい教育改革の推進 [NEW]																◎					☆	99
	13-2	効果的・効率的な執行体制の整備																◎						101
	13-3	教育情報の収集と発信																◎						103
	13-4	学校適正配置																◎						105
	13-5	教育施策の管理と適切な評価																◎						107

施策評価の平均	全施策の平均
	NEXT&NEWの平均

施策評価の分布	評価5 … 指標を上回って達成した施策	} ← 平均評価5.0の施策数÷51施策×100 ← 平均評価4.0以上評価5.0未満の施策数÷51施策×100 ← 平均評価3.0以上評価4.0未満の施策数÷51施策×100 ← 平均評価2.0以上評価3.0未満の施策数÷51施策×100 ← 平均評価1.0以上評価2.0未満の施策数÷51施策×100
	評価4 … 指標を概ね達成した施策	
	評価3 … 指標をもう少しで達成した施策	
	評価2 … 指標を下回った施策	
	評価1 … 指標を大きく下回った施策	

指標目標の 評価基準	<p>指標目標の評価基準は下記のとおり。なお、( )内は、減少指標目標の場合</p> <p>※ 達成率 = 進捗状況値 ÷ 指標目標値 × 100</p> <p>評価5 … 達成率 105%以上(95%未満)</p> <p>評価4 … 達成率 95%以上105%未満(同左)</p> <p>評価3 … 達成率 85%以上95%未満(105%以上115%未満)</p> <p>評価2 … 達成率 75%以上85%未満(115%以上125%未満)</p> <p>評価1 … 達成率 75%未満(125%以上)</p>
---------------	--

※次ページ以降の、「上半期の取組に対する評価」及び「下半期の取組に向けて」欄における文頭の◎は、「学・社・民の融合による教育」に関する内容であることを示します。

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(1)	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進(p.17)	[NEXT]
--------	----------	-------	------------------------------	--------

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	20.0	50.0	75.0	85.0	92.0		
進捗状況	-	42.5	72.0	85.0	91.0			
指標2	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	92.0	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	56	56	56	56	56	4	100.0%
進捗状況	-	56	56	56	56	56		
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
進捗状況	1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
指標5	環境教育事業の実施						R1評価	
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	実施	実施	実施	実施	実施		
進捗状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○持続可能な開発のための教育の啓発 ○ESDマークを教育課程へ位置づけるよう啓発		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○年間2回実施の研究主任会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での具体的支援		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○学習支援員連絡会(5月9日)の実施 ○放課後学習教室の運営		
当初予算額	6,182千円	決算額 千円
構成事業4 環境学習の充実(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○環境学習への支援 ○環境学習発表会		
当初予算額	1,200千円	決算額 千円
構成事業5 環境教育事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○地域住民向け環境教育事業や子ども向け環境教育事業の実施		
当初予算額	168千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	7,885 千円	H27	6,637 千円
H28	8,916 千円	H28	7,913 千円
H29	8,875 千円	H29	7,764 千円
H30	7,570 千円	H30	7,417 千円
R1	7,550 千円	R1	千円
合 計	40,796 千円	合 計	29,731 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○上半期は、学校訪問を通じて主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けてきた。その結果、「アクティブ・ラーニング」を進めることで、子どもに社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができる、という意識を教職員一人一人にもたせることができた。また、ようやく、ESD(持続可能な開発のための教育)の概念が各教職員に浸透してきている。

○5月に、今年度から学習支援員となった方々を含めた43名が参集し、アフタースクール学習支援員連絡会を行った。本事業の概要を説明するとともに、代表者の実践発表やグループ協議を通して、これまでの取組の様子や留意事項について情報を共有できた。学習支援員は、5月下旬に各校での学校担当者との打ち合わせを行い、計画的に講座の運営を行うことができた。6月から講座を開始した学校もあった。

○環境教育の一層の推進を図るため、小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、希望校1校(早通小)指定校9校(岡方第二小, 東中野山小, 笹口小, 有明台小, 東曽野木小, 阿賀小, 小林小, 青山小, 巻南小)が事業を推進している。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(有明台小, 阿賀小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。さらに、今年度は、水俣市から新潟への受け入れも行った。その際の代表校2校(巻南小, 小林小)を推薦し、交流学习を行った。

○子どもたちが、緑豊かな環境の中で、自然とかかわり合う体験をおして学ぶことができるよう「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」を案内・募集し、8校(濁川中, 山の下小, 桃山小, 関屋中, 早通小, 小合中, 矢代田小, 根岸小)が事業を推進している。

○地域住民向けの自然観察会やクリーン作戦などの環境美化活動などを開催し、身近な自然や環境を考える機会とした。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○さらに学校訪問等を通じて、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けていく。また、広報等でもESD(持続可能な開発のための教育)の概念の理解を広め、他課(環境政策課)とも連携を図りながら進めていく。

○アフタースクール学習支援事業において、各校から提出された計画書に基づいて、全市立中学校に配置された学習支援員(数学及び英語)が、各校の学校担当者との連携のもと、各校の生徒の実態を踏まえた学習支援に取り組みるように、必要に応じて連絡調整を図る。

○今年度の「地域の特色を活かした環境学習支援事業」推進校を指導、支援するとともに、次年度のモデル校指定に向けて、新規モデル校の指定を働き掛けていく。

○「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の各実践校から報告書を回収し、次年度への取組に活用する。

○地域住民に向けた自然観察会やリサイクル教室などの環境事業を開催し、身近な環境や自然について考える機会を提供する。

● 推進委員からの意見・要望等

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進(p.18)
--------	----------	-------	------------------------------

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	キャリア教育の充実を目指して年間指導計画を作成、改善した学校の割合(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	90.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	97.0	100.0	100.0	95.8	98.8			
指標2	高等教育機関・関係機関より講師を招聘し、キャリア発達に資する思考力・判断力・表現力を育む授業をした学校の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	99.4			
指標3	大学見学・職場見学、インターンシップ(就業体験)等を実施した学校の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	-	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標4							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 キャリア教育推進事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○中学校にキャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を配付 ○中学校, 高等学校での職場体験, インターンシップの推進 ○キャリア教育・年間指導計画の作成, 改善	当初予算額	0千円
	決算額	千円
構成事業2 市立高等学校キャリア教育推進事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○高等教育機関や企業等と連携した探究的学習の実施 ○外部機関による各種研修会の実施 ○キャリア教育推進のための先進事例研究	当初予算額	971千円
	決算額	千円
構成事業3		
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業4		
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業5		
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業6		
	当初予算額	千円
	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,699 千円	H27	1,325 千円
H28	197 千円	H28	1,315 千円
H29	1,214 千円	H29	1,105 千円
H30	971 千円	H30	910 千円
R1	971 千円	R1	千円
合 計	5,052 千円	合 計	4,655 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○キャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を職場体験の事前学習や、自分の将来や進路を考える際に活用している。また、リーフレットの中に中学校で身に付けてほしい力として「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を示し、キャリア教育年間指導計画に位置づけるように改善を進めている。

○令和2年度4月からスタートする「キャリア・パスポート」の導入に向けて、各校への教材を活用する意義や活用の仕方を周知したり、また、「キャリア・ノート」の例示資料を提示したりするなど、円滑に進められるよう支援している。

○高等学校・中等教育学校後期課程においては、高等教育機関や企業等の外部機関を活用しながら、探究的・課題解決的学習を推進する取組を支援している。

※キャリアパスポート

小学校から高等学校を通じて、児童生徒にとっては、自らの学習状況やキャリア形成を見直したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につながるもの。教師にとっては、その記述をもとに対話的に関わることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導に資するもの。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○キャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を活用した、職場体験の事前学習や、自分の将来や進路を考える進路学習を推進する。

○年間指導計画に位置づけた「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を身に付けるキャリア教育を確実に実施するよう各校に引き続き指導していく。

○中学校で実施している職場体験学習の実施状況を調査し、より多くの学校で充実した活動となるよう支援する。

○「キャリア・パスポート」(新潟市版)を完成させる。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		61.7	61.9	104.0	104.0	104.0	4	99.8%
進捗状況	70.7	68.5	63.5	106.4	108.0	107.8		
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		59.7	59.9	104.0	104.0	104.0	4	97.9%
進捗状況	73.4	56.0	50.0	103.3	103.1	100.9		
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		53.2	53.4	104.0	104.0	104.0	4	99.8%
進捗状況	67.3	66.1	49.0	101.9	102.5	102.3		
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		61.2	61.3	104.0	104.0	104.0	4	98.7%
進捗状況	62.8	48.2	52.0	102.3	104.1	102.8		
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		84.0	84.5	85.0	86.0	86.0	4	102.1%
進捗状況	83.1	87.7	87.4	88.7	82.1	83.8		
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		70.5	71.0	72.0	73.0	74.0	5	101.1%
進捗状況	69.8	70.7	74.4	74.3	81.2	82.1		
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	80.5	81.0	84.0	84.0	4	102.0%
進捗状況	79.1	85.0	84.2	86.1	81.2	82.8		
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		70.0	71.0	72.0	73.0	74.0	5	94.8%
進捗状況	69.0	70.5	71.6	73.2	85.1	80.7		

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学力実態調査		
R1事業計画	R1事業成果	
○中学校2年生に学力調査(CRT)を実施(理科, 英語) ○学力実態報告書の作成・配布		
当初予算額	4,108 千円	決算額 千円
構成事業2 学力定着支援事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○小学校3・4・5・6年生の算数と中学校全学年の数学の単元評価問題を年9回配信 ○小学校5年生, 中学校2年生の理科の評価問題を年4回配信		
当初予算額	0 千円	決算額 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○学習支援員連絡会(5月9日)の実施 ○放課後学習教室の運営		
当初予算額	6,182 千円	決算額 千円
構成事業4 学習支援員派遣事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○教員を目指す大学生を学習支援員として派遣し, 児童生徒へのきめ細かな学習指導を支援 ○連絡調整費として一回につき1,000円を支給, 一人当たりの上限を30回として, 129名の派遣		
当初予算額	2,891 千円	決算額 千円
構成事業5 理科大好きプロジェクト		
R1事業計画	R1事業成果	
○理科支援員の配置		
当初予算額	2,657 千円	決算額 千円
構成事業6 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○本事業にかかる3回の研修会の開催(第1・3回研修会は, コーディネーター・地域連携担当職員対象。第2回研修会は, 新任校長対象。) ○新任コーディネーター研修		
当初予算額	135,766 千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,582 千円	H27	18,877 千円
H28	19,639 千円	H28	17,810 千円
H29	20,405 千円	H29	16,939 千円
H30	18,519 千円	H30	16,325 千円
R1	15,838 千円	R1	千円
合 計	93,983 千円	合 計	69,951 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○【全国学力・学習状況調査による学力実態:平均正答率】  
今年度から、知識と活用を一体的に問う調査問題になった。本市の平均正答率は、全国(公立)の平均正答率を全ての教科で上回った。  
・国語 小学校:68.8%(全国比+5.0), 中学校:74.4%(全国比+1.6)  
・算数数学 小学校:67.2%(全国比+0.6), 中学校:61.4%(全国比+1.7)  
・中学校英語 中学校:56.2%(全国比+0.3)

○成果指標5および7については、児童生徒質問紙調査において、29年度までの質問項目「発表の機会が与えられていたと思うか」がなくなったため、昨年度より質問項目「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の肯定評価の値を入力している。

○中学2年生6,276名に学力調査(CRT)を実施し、調査結果を作成し、各校に配付した。

○算数・数学および理科の単元評価問題の配信を継続している。各校においては、実態に応じて活用方法を工夫している。

○5月に、今年度から学習支援員となった方々を含めた43名が参集し、アフタースクール学習支援員連絡会を行った。本事業の概要を説明するとともに、代表者の実践発表やグループ協議を通して、これまでの取組の様子や留意事項について情報を共有できた。学習支援員は、5月下旬に各校での学校担当者との打ち合わせを行い、計画的に講座の運営を行うことができた。6月から講座を開始した学校もあった。

○理科支援員配置の希望の募集を行い、これまでの配置状況から検討し、今年度31校に理科支援員を配置した。

○7月末までに129人の学習支援ボランティアが登録され、授業等の補助などに当たり、各校で有効に活用されているとともに感謝の声が寄せられた。

\* 以下、「9-(1)地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進」p64の記載内容を参照

● R1年度の下半期の取組に向けて

○学校訪問の継続により、各校において組織的な授業改革が推進されるよう引き続き支援していく。校長・教頭・研究主任に対し、授業マネジメント研修を通して、学校教育の重点について、確実に定着させていく。

○アフタースクール事業については、各校から提出された計画書に基づいて、全市立中学校に配置された学習支援員(数学及び英語)が、各校の学校担当者との連携のもと、各校の生徒の実態を踏まえた学習支援に取り組めるように、必要に応じて連絡調整を図る。

○毎月集約する理科支援員の出勤状況を管理しながら、支援員の活用が計画的に実施されるよう指導・助言を行う。各校で有効に活用され、理科の授業の観察・実験等が円滑に進められたという肯定的なアンケート結果につながるよう指導・助言を行う。

○実施状況・回数及びⅡ期(後期)から登録を希望する学生を確認し、連絡調整を行う。また、学習支援ボランティアの効果や取組内容について確認し、効果的に支援が行えるように体制、指導を整える。

\* 以下、「9-(1)地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進」p64の記載内容を参照

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		25.0	50.0	75.0	100.0	100.0		
進捗状況	-	25.0	50.0	75.0	100.0	100.0		
指標3								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○ASP総合推進会議, ASP評価サポート委員会を開催し, ASPの改善点の検討を実施 ○ASP研修会の開催, 活用のポイントを周知, 教育課程への位置付けを促す		
当初予算額	0千円	決算額
構成事業2		0
当初予算額	千円	決算額
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額
構成事業4		0
当初予算額	千円	決算額
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額
構成事業7		
当初予算額	千円	決算額

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
R1	0 千円	R1	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○第1回ASP総合推進会議を5月に実施。ASP評価・サポート委員会を7月に実施し、ASPの改善点の検討を実施

○ASP研修会の4回開催、活用のポイントを周知

● R1年度の下半期の取組に向けて

○食と花の推進課との連携を常に取りつつ、ASP総合推進会議、ASP評価・サポート委員会を適切に実施し、新潟市内の学校・園にASPを広げていく。

○改善点に基づいたASP研修会を開催し、ASP活用のポイントを周知し、年間指導計画への位置付けを促進する。ASP成果発表会、アグリパークを語る会を準備・運営していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合(%)						R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	51.8	51.9	57.7	62.6	65.4		
進捗状況	-	51.8	57.6	62.5	65.3			
指標2							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標3							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標4							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標5							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標6							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標7							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標8							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習習慣定着事業		
R1事業計画		R1事業成果
○家庭学習実態調査の実施 ○啓発活動の推進(学校訪問・広報紙「サポート」等)		
当初予算額	121 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	534 千円	H27	223 千円
H28	398 千円	H28	343 千円
H29	223 千円	H29	239 千円
H30	109 千円	H30	106 千円
R1	121 千円	R1	千円
合 計	1,385 千円	合 計	911 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○学校訪問の全体指導で全教職員に配付したリーフレットを活用し、各校での家庭学習習慣定着への取組を促した。

○研究主任を対象とした研修で、家庭学習定着の先進的取組を紹介した。

○小学校中学校ともに、全校体制で家庭学習習慣定着に取り組む学校が増加している。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○学校訪問の全体指導、広報紙「Support」を活用し、先進的な取組を紹介し、各校への啓発を継続する。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		78.0	79.0	80.0	81.0	82.0		
進捗状況	77.2	75.6	46.8	74.7	75.5			
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		56.0	57.0	58.0	59.0	60.0		
進捗状況	55.1	62.1	55.2	71.9	70.2			
指標3	中学生の不読率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		12.0	11.5	11.0	10.5	10.0		
進捗状況	12.1	12.3	11.8	11.4	12.3			
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)→H29～週に1回以上新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		2.8	2.8	2.8	2.8	2.8		
進捗状況	2.7	1.0	1.1	1.6	2.5			
指標5							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	0						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校図書館活用推進校事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○小学校20校, 中学校10校を学校図書館活用推進校として指定 ○年度末(2月)に実践発表会開催 ○HP, 学校支援課日より「サポート」で代表的実践例紹介		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 学校図書館支援事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○蔵書システム運用サポート体制維持・公務出張の拡充による研修支援(4月～) ○学校図書館地域開放実施(7, 8月) ○次年度司書配置(3月)		
当初予算額	247千円	決算額 千円
構成事業3 学校図書館支援センター事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○学校図書館訪問, 相談対応 ○新任学校司書研修, 学校司書実務研修 ○学校貸出図書搬送事業 ○学校貸出セット「オレンジBOX」追加整備と貸出 ○学校図書館支援センター運営協議会, 運営検討委員会の開催		
当初予算額	2,100千円	決算額 千円
構成事業4 新聞活用の推進【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○小学校13校, 中学校3校と新聞活用教育(NIE)推進校として指定 ○推進校における, 新聞活用教育の実践の推進 ○年度末(2月)に実践報告集を各校に配布		
当初予算額	121千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,160 千円	H27	1,888 千円
H28	2,521 千円	H28	1,928 千円
H29	2,055 千円	H29	2,155 千円
H30	2,464 千円	H30	1,747 千円
R1	2,468 千円	R1	千円
合 計	11,668 千円	合 計	7,718 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○学校図書館活用推進校として、小学校20校、中学校10校を指定し、5月に学校図書館活用推進校研修会を実施した。「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を高めるための取組について共通理解を図ることができた。

○蔵書管理システムサポート代表校(16校)を組織して、蔵書システムの取り扱いの支援を行い、学校図書館の円滑な運営に努めた。

○夏季休業中の学校図書館地域開放を小学校78校、中学校14校で行い、子どもたちだけでなく、家族や地域の人からも学校図書館を実際に使ってもらい、学校図書館への理解を深めることができた。

○学校図書館支援センターの取組は以下のとおり

- ・4つの学校図書館支援センターが、市立小・中学校、中等教育学校、特別支援学校、高等学校の全校を訪問し(8月末までに189回)、学校図書館の運営や活用の状況を取り、業務相談を行った。特に新任の司書には個別に連絡を取り助言した。
- ・新任学校司書研修を5回実施した(年6回予定)。学校司書実務研修を3図書館で実施した。
- ・図書館から学校へ、団体貸出(8月末までに21,066冊、その中で宅配による学校貸出図書搬送は9,933冊)により、授業や読書活動を支援した。
- ・特別支援学校の整備に関する情報収集に努め、学校へ情報を提供した。
- ・新潟市の学校図書館と学校図書館支援の取組を新潟市内外に広く発信するため、北信越地区学校図書館研究大会で新潟市の取組を発表した。
- ・本市のこれまでの教育委員会による学校図書館の整備充実が高く評価され、第49回「学校図書館賞」(主催:公益社団法人全国学校図書館協議会)を受賞した。

○新聞活用教育(NIE)推進校として、各16校(小学校13校、中学校3校)を指定し、新聞の複数紙配置をした。各校の計画に基づき実践が行われている。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○活用推進校の実践報告を基に、効果的な取組を各学校に周知し、授業での活用を促す。

○「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を高めるために有効だった実践例を市立全校園に周知し、授業での活用を促す。

○年度末(2月)に学校図書館活用実践報告会を行う。各校の優れた実践を共有し、次年度以降の実践に活かすことができる報告会になるよう、運営の仕方・内容を工夫する。

○引き続き蔵書管理システム取り扱いの支援を行うとともに、来年度当初における図書館司書の配置を適切に行う。

○学校図書館支援センターの取組は以下のとおり

- ・新任司書勤務校及び訪問要請校を対象とした学校図書館訪問を行う。
- ・学校図書館訪問や資料提供により、学校図書館活用推進校事業に協力し、学校に必要な資料の提供や個別の相談に対応する。年度末に行われる実践報告会に出席し、各区の取組状況を把握する。
- ・新任学校司書を対象にした新任学校司書研修、学校司書全員を対象にした学校司書実務研修を実施し、学校司書のスキルアップや業務の平準化を図る。
- ・団体貸出(学校貸出図書搬送を含む)を継続し、必要な資料の利用状況の分析を行う。あわせて小学校教科書改訂に合わせ「オレンジBOX」の改訂を進め、学校での図書館活用を支える蔵書の整備を進める。
- ・特別支援学校の整備に関する情報収集に努め、学校への情報提供を継続する。
- ・引き続き、新潟市の学校図書館と学校図書館支援の取組を新潟市内外に広く発信するよう努める。
- ・学校図書館支援センターの運営について、4つの支援センターごとに設置している「運営協議会」と全市の支援センターの在り方について協議する「運営検討委員会」を通して、課題を共有し、効果的な学校図書館支援が行えるよう引き続き協議・検討する。

○児童生徒対象の新聞を活用した学習(8校)、授業実践についての研修(1校)を実施する。

○年度末に推進校の実践例を市立全校園に周知し、授業での活用を促す。

● 推進委員からの意見・要望等

**●R1施策評価**

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

**●成果指標**

指標1	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
進捗状況	79.8	78.5	80.3	82.1	86.9	85.1	5	97.9%
指標2	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		72.0	72.0	72.0	72.0	72.0		
進捗状況	70.6	72.4	71.5	75.5	80.8	77.9	5	96.4%
指標3	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)→H29～「新潟市の学校教育実践状況調査」で上記評価を実施						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		96.5	96.5	96.5	96.5	96.5		
進捗状況	96.0	95.2	—	90.4	89.4			
指標4	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)→H29～「新潟市の学校教育実践状況調査」で上記評価を実施						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		96.5	96.5	96.5	96.5	96.5		
進捗状況	96.1	95.6	—	90.2	91.0			
指標5	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		98.0	98.0	98.0	98.0	98.0		
進捗状況	97.5	97.1	97.6	97.8	98.1	98.5	4	100.4%
指標6	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.3	95.0	95.0	95.0		
進捗状況	94.3	95.2	94.8	94.6	97.1	96.9	4	99.8%
指標7	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		90.2	90.2	90.2	90.2	90.2		
進捗状況	90.2	94.5	94.4	94.4	97.2			
指標8	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		26.3	26.3	28.0	28.0	29.8		
進捗状況	24.5	24.5	28.1	36.8	28.1			
指標9	家庭教育学級数(講座)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		63	64	68	69	69		
進捗状況	63	68	68	66	65			

**●施策を構成する事業**

構成事業1 道徳教育の充実、福祉教育の充実、人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○小・中学校の道徳教育推進教師を対象とした道徳教育研修会の実施 ○道徳科の授業づくりリーフレット(小学校版, 中学校版)を市立小・中学校全教職員へ配布 ○男女平等教育のための資料作成と配付 ○人権教育、同和教育に関する研修会の実施		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 家庭教育振興事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○出産前から子どもの成長期に合わせた家庭教育学級の実施 ○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習の出前講座の実施(小・中学校)		
当初予算額	10,510千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	420,420 千円	H27	9,274 千円
H28	13,051 千円	H28	11,009 千円
H29	16,014 千円	H29	14,138 千円
H30	13,812 千円	H30	11,722 千円
R1	10,510 千円	R1	千円
合 計	473,807 千円	合 計	46,143 千円

注:再掲事業分を含む

＜前ページの指標目標の設定型＞

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

● R1年度の上半期の取組に対する評価

- すべての小・中学校において、道徳教育の全体計画、全体計画の別業、各学年の年間指導計画を作成して取り組んでいる。
- 道徳科の授業づくりリーフレットを活用した校内研修会が開催されている。
- 道徳教育推進教師研修会を受けて、自校で道徳教育推進教師を中心とした道徳教育研修会が実施されている。
- ※成果指標3, 4については、評価対象となる全国学力・学習状況調査項目が平成28年度から変更となった(「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」→「人が困っているときは、進んで助けていますか」)。そのため、平成29年度から「新潟市の学校教育実践状況調査」で評価している(中間評価時は未実施)
- 男女平等教育学習推進研究会を5月と9月に実施した。12人の委員の男女の割合は半分ずつである。現在の男女平等教育学習資料の活用状況を共有し、成果と課題を話し合った。
- 令和2年度から10年間使用する、男女平等教育学習資料の改訂ワーキングを行った。執筆が進んでいる。
- 市立学校の管理職を対象とした人権教育、同和教育の研修会を開催し、全国でも著名な方からの講演を行い、差別の現状と差別を解消する実践について学ぶことができた。
- 夏季休業期間を中心として、人権教育、同和教育の校内研修を開催している。
- 出産前の妊婦を対象としたプレママ学級や乳児期から思春期まで子どもの成長に合わせた家庭教育学級を実施し、子育ての知識や情報、親としてのかかわり方などを学ぶ機会を提供した。
- 小中学校と連携して、就学時健診や新入学学校説明会など保護者が集まる機会に、家庭教育の大切さなどについて講演を行う「子育て学習出前講座」の実施を呼び掛けた。
- 地域団体と連携して、子どもたちの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図るため、おはよう朝ごはん料理講習会の開催を呼び掛け、21団体と開催した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

- 計画訪問や要請訪問を通して、適切な指導、助言を行い、各校における道徳科の授業力向上を図る。
- 学期末、年度末における道徳科の評価が適切にされるように、学校支援課より「Support」で紹介する。
- 令和2年度から10年間使用する男女平等教育学習資料を完成させ、各校へ配付する。
- 人権教育、同和教育の担当者会議を行い、年間指導計画について学校間で情報共有を図る。
- 引き続き、子どもの成長期に合わせた家庭教育学級などの講座を開催するとともに、夫婦で参加し子育ての意識を共有できるような機会を提供していく。
- 小中学校と連携した子育て学習出前講座を保護者が集まる機会を捉えて実施し、家庭教育の意識啓発を図る。
- おはよう朝ごはん料理講習会を地域団体等と連携して実施し、規則正しい生活リズムや朝ごはんの大切さを啓発していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		66.7	66.7	67.0	70.0	75.0		
進捗状況	61.1	83.3	69.2	90.9	83.7			
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						R1評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	97.0	97.0	97.0		
進捗状況	96.2	99.1	95.8	97.4	98.3			
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						R1評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	97.0	95.0	95.0		
進捗状況	94.5	96.3	98.1	94.2	96.4			
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		0.38	0.38	0.38	0.40	0.64		
進捗状況	0.40	0.44	0.47	0.56	0.69			
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		2.65	2.62	2.60	2.64	3.23		
進捗状況	2.69	2.64	2.98	3.11	3.63			
指標6							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 いじめ対策等生徒指導推進事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○本市の生徒指導の考え方・体制について周知を図るための研修会の実施 ○いじめ防止に関する会議の開催 ○「新潟市いじめ防止フォーラム」の開催	当初予算額	674 千円
	決算額	千円
構成事業2 教育相談ネットワーク事業・カウンセラー等活用事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○スクールカウンセラーを全ての市立小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校に配置	当初予算額	81,043 千円
	決算額	千円
構成事業3		
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業4		
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業5		
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業6		
	当初予算額	千円
	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	88,651 千円	H27	89,742 千円
H28	83,419 千円	H28	81,800 千円
H29	80,653 千円	H29	81,690 千円
H30	79,886 千円	H30	79,545 千円
R1	81,717 千円	R1	千円
合 計	414,326 千円	合 計	332,777 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

- いじめ・不登校の適切な対応のために、「教頭研修」「初任者研修」「中堅教諭等研修」「事務職員5年目研修」「要請訪問研修」等で、その概論と対応に関する研修を実施した。
- 児童・生徒の自律性・社会性の育成及び問題への適切な対応に向けて、学校訪問等の機会をとらえて、指導・支援を行った。
- いじめ防止市民連絡協議会を実施し、いじめの現状について情報共有を図るとともに、未然防止等に向けた取組や具体的な事案への対応の検討等を行った。
- カウンセラー配置・派遣では、スクールカウンセラーを全ての市立学校に配置し、児童生徒、保護者、教職員へのカウンセリングと校内研修の助言等を行い、児童生徒、保護者が抱えている問題の解決または一定の解消が見られた。
- 各学校からの欠席報告を確実にし、各区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、各区教育相談室など、不登校にかかわる機関で情報を共有し、不登校の未然防止の意識を高めた。不登校数の多い学校には、直接学校訪問し、減少に向けた取組について指導した。
- 不登校児童生徒に対する組織的な支援と、小中一貫した継続的な支援のために「児童生徒理解・教育支援シート」の活用推進を図った。
- 教育相談センターの相談件数は若干減少しているが、相談内容が変化している。(相談内容において)不登校の割合が、4年前64%→今年度90%近くである。学校に適應できない児童生徒が昔は荒れや非行に走っていたが、激減して現在は年間数件しかない。現在は適應できなくなると不登校となって表れる。

● R1年度の下半期の取組に向けて

- 11月に「新潟市いじめ防止フォーラム」を開催する。
- 学校訪問等を通じて、児童生徒の自律性・社会性の育成及び、「いじめ・不登校の初期対応ガイドブック」の活用に向けた指導を継続する。
- 各学校からの欠席報告を各区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、各区教育相談室など、不登校にかかわる機関で情報を共有し、不登校の未然防止の取組を継続して行う。
- カウンセラーの派遣を適切かつ必要性に応じて全ての市立学校に行うとともに、学校・カウンセラーとの連携を密に、日常的・緊急的な生徒指導を継続して展開する。
- 根っこの部分、集団に適應するという部分、社会性の育成ということで、各区も含めた適應指導教室では体験活動を中心とした社会性の育成に力を入れていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	自然体験学習を実施した学校の割合(%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		94.0	95.0	95.0	95.0	95.0		
進捗状況	94.6	96.4	95.3	95.3	98.1			
指標2	子供向け体験活動事業参加者数(人)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		21,300	21,300	21,300	21,300	21,300		
進捗状況	21,011	20,516	20,365	19,670	18,782			
指標3							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 自然体験学習の支援		
R1事業計画	R1事業成果	
○体験学習の意義等の周知		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○土日や長期休業期間に集団活動や様々な体験活動事業の実施		
当初予算額	1,983千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	15,244 千円	H27	17,494 千円
H28	14,418 千円	H28	13,726 千円
H29	9,312 千円	H29	8,792 千円
H30	2,320 千円	H30	1,693 千円
R1	1,983 千円	R1	千円
合 計	43,277 千円	合 計	41,705 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○昨年度より1学級当たり3万円のバス代補助が削減されたが、各学校では、例年同様、アグリパーク、胎内少年自然の家、五頭少年自然の家、妙高少年自然の家、佐渡等で、子どもたちの自然体験学習(野外炊飯、キャンプファイヤー、自然観察等)が活発に行われた。

○学校が休みになる土日や夏休みなどの長期休業期間に、集団活動やキャンプなどの野外活動、ものづくりなどの体験活動事業を実施し、異年齢や異なる学校の子どもたちとの活動を通して社会性を育み、健全育成を図った。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○これまでどおり活発な活動が継続していくように、自然体験活動の意義等を各学校に周知していく。

○土日や長期休業期間を利用して、自然体験や生活体験など様々な体験事業を開催し、子どもたちの健全育成を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	優れた音楽や芸術に触れる機会の提供(回)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		2	2	2	2	2		
進捗状況	4	3	3	3	2			
指標2	伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
進捗状況	5,081	6,663	6,509	6,101	6,293			
指標3							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 優れた音楽・芸術に触れる機会の提供		
R1事業計画	R1事業成果	
○「こころの劇場」招待公演の開催 ○文化芸術による子どもの育成事業 巡回・派遣公演 ○事業内容の検討		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 伝統文化の体験学習(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○地域の伝統・文化の体験と次世代への継承		
当初予算額	1,173千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	32,396 千円	H27	40,279 千円
H28	40,579 千円	H28	39,269 千円
H29	39,771 千円	H29	36,789 千円
H30	1,448 千円	H30	821 千円
R1	1,173 千円	R1	千円
合 計	115,367 千円	合 計	117,158 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○小学校36校,6年生を中心とする児童1,889名を招待する「こころの劇場(裸の王様)」を実施した。(10月15日<火>10月16日<水>)

○文化芸術による子どもの育成事業の芸術家の派遣事業に,市立小中学校15校,芸術家の巡回事業に1校が取り組んでいる。

○南区の大凧合戦などの地域の伝統行事や,様々な文化芸術活動を体験することにより,子どもたちが伝統行事や文化芸術の素晴らしさを継承することの必要性を知ってもらう機会とした。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○子どもたちに伝統文化の素晴らしさを伝え,地域を深く知り愛着心を育むことができるよう,地域の伝統文化を体験する機会を提供していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	中学校の体力テストの各項目で全国平均値を上回った項目の割合(%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		51.0	52.0	47.0	54.0	55.0		
進捗状況	52.1	47.9	47.9	56.3	64.6			
指標2	運動習慣等調査中2女子の「運動が好きですか」の肯定的評価の割合(%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		80.5	82.0	82.0	82.0	85.0		
進捗状況	79.2	77.6	77.8	78.1	79.8			
指標3	運動習慣等調査中2女子の「運動が得意ですか」の肯定的評価の割合(%)						R1評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		58.0	59.0	-	-	-		
進捗状況	56.7	55.8	-	-	-	-		
指標4							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「体力向上ジャンプアップ」推進事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○「体力向上ジャンプアップ」を小・中学校毎に集約, 情報提供		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2「体力向上・運動大好きプロジェクト」		
R1事業計画	R1事業成果	
○体力向上指導者養成研修へ3名派遣 ○伝達講習会の実施(小学校幼稚園2回, 中学校1回) ○「学校体育のあしあと」の編集, CD-ROM化, 市立学校へ配付		
当初予算額	201千円	決算額 千円
構成事業3「中学校部活動エキスパート・サポート事業」		
R1事業計画	R1事業成果	
○運動部エキスパートとして50名以上を派遣 ○運動部サポーターとして40名以上を派遣		
当初予算額	4,452千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6「地域と学校パートナーシップ事業【再掲】」		
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,681 千円	H27	4,511 千円
H28	4,675 千円	H28	4,376 千円
H29	4,707 千円	H29	4,492 千円
H30	4,594 千円	H30	4,619 千円
R1	4,653 千円	R1	千円
合 計	23,310 千円	合 計	17,998 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○体力向上ジャンプアップを全学校が作成し、課題の解決に向けて取り組んでいる。

○体育・保健体育指導力向上研修に3名の受講者を派遣し、授業の改善や新学習指導要領の考えに基づいた教材の工夫等を研修した。それについて、小学校幼稚園の体育関係職員116名に伝達し、それをさらに各校園内で伝達を進めた。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○体力向上ジャンプアップを全学校に配付し、情報共有を図り生かす。

○中学校の伝達講習会を実施して、ボール運動の工夫を各校の指導に生かす。

○学校体育の原稿を市小研体育部、中体連等に依頼し、活用できるように編集を進める。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	肥満傾向の児童生徒の割合(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		6.44	6.07	5.69	5.32	5.30		
進捗状況	6.82	6.68	6.92	6.91	7.01			
指標2	中学1年生一人平均う歯(むし歯)数(本)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		0.51	0.46	0.41	0.36	0.30		
進捗状況	0.56	0.53	0.51	0.44	0.39			
指標3	健康診断の確実な実施(回)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		2	2	2	2	2		
進捗状況	2	2	2	2	2			
指標4	研修会の実施(回)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		6	6	7	7	7		
進捗状況	6	6	6	9	9			
指標5							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 児童生徒の生活習慣病予防対策事業		
R1事業計画	R1事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○パンフレットを作成し, 健康教育に活用</li> <li>○小4, 中1の希望者に血液検査などの健診を実施</li> <li>○健診結果説明会の開催</li> <li>○健康相談会の実施</li> </ul>		
当初予算額	7,041 千円	決算額 千円
構成事業2 児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業		
R1事業計画	R1事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「むし歯予防教室」, 「歯肉炎予防教室」の開催</li> <li>○フッ化物洗口の実施</li> </ul>		
当初予算額	11,745 千円	決算額 千円
構成事業3 各種健康診断事業		
R1事業計画	R1事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学時健康診断</li> <li>○定期健康診断</li> </ul>		
当初予算額	193,039 千円	決算額 千円
構成事業4 健康教育に関する研修の充実		
R1事業計画	R1事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健主事研修 ○養護教諭研修(2回) ○保健の授業づくり ○性に関する教育研修会 ○学校におけるアレルギー疾患への対応研修会 ○学校保健研修会 ○プールの安全衛生研修会 ○がん教育研修</li> </ul>		
当初予算額	2,010 千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	224,064 千円	H27	213,091 千円
H28	219,969 千円	H28	210,704 千円
H29	221,007 千円	H29	214,399 千円
H30	217,100 千円	H30	209,322 千円
R1	213,835 千円	R1	千円
合 計	1,095,975 千円	合 計	847,516 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

◎児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、生活習慣病予防パンフレットを小学校4年生及び中学校1年生の保護者に6月に配布し、各学校で指導するとともに、夏休み期間を利用して、小学校4年生と中学校1年生の希望者に生活習慣病健診を実施した。生活習慣病健診は小学校4年生1,102人、中学校1年生784人、計1,886人が受診した。受診率は14.6%で、昨年度に比べ約2%の増となった。

◎児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、むし歯予防教室や歯肉炎予防教室を行う巡回歯科指導を実施するための準備を行った。小学校104校、中学校22校、中等教育学校0校、特別支援学校2校、計128校で実施し、歯科保健教育に関する意識の向上が持続していると考えている。フッ化物洗口については、令和元年度は小学校13校の新規立ち上げを進めており、教職員及び保護者説明会、希望調査、洗口練習とステップを踏み、丁寧に説明することで、フッ化物洗口に関する正しい知識を周知し、十分な理解を得た上で進めることができていると考えている。

◎各種健康診断事業については、学校保健安全法に基づく定期健康診断及び精密検査を予定どおり実施し、疾病の早期発見や児童生徒の健康管理や指導に努めるとともに、小学校就学予定者に対する就学前健康診断を円滑に実施できる準備を整えた。また、運動器の機能に関わる検査については、新潟大学整形外科教授や市内の整形外科医を中心とした検討委員会において助言をいただきながら進めており、着実に実施することができた。

◎健康教育に関する研修の充実については、アレルギー疾患への対応、感染症、生活習慣病、喫煙や飲酒、薬物乱用、いじめや不登校、虐待など多岐にわたる健康課題の解決に向け、これらの的確な対応、適切な指導を求められており、養護教諭の専門的な資質や技量の向上のため研修を実施している。また、「がん教育総合支援事業」を展開するため、推進校3校を指定し、準備を進めた。

● R1年度の下半期の取組に向けて

◎児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、要医療者に受診勧奨を行い、要指導者には事後の健康相談への参加を促している。また、健診結果集計データについては、学校における保健指導の資料として活用するとともに、令和元年度の健診対象者に前年度のうちから勧奨を行い、受診希望者の掘り起こしを行っていく。なお市立高校の生徒には、生活習慣指導を行い、小学校・中学校との継続指導を実施する。そのほか、生活習慣病健診結果説明会や健康相談を実施する。

◎児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、歯科衛生士の協力を得て、希望する学校に歯科衛生士を派遣し、むし歯予防教室や歯肉炎予防教室を行う巡回歯科指導を実施する。フッ化物洗口については、令和元年度の新規立ち上げ校小学校13校がフッ化物洗口を開始するための準備を着実に進めていく。令和元年度末で実施校・園数は、市立幼稚園全園(10園)、小学校全校、中学校8校となる予定であり、フッ化物洗口を着実に広めていくことで、健康で丈夫な歯づくりを進め、う歯の有病者率を抑制していくことができると考えている。

◎各種健康診断事業については、定期健康診断及び精密検査の結果を集計し、学校保健統計資料を取りまとめるとともに、要精密検査の受診勧奨を行っていく。また、昨年度に導入された成長曲線・肥満度曲線の活用についても、引き続き研究していく。

◎健康教育に関する研修の充実については、多様化・複雑化する児童生徒の健康課題に的確に対応するため、学校におけるアレルギー疾患への対応研修会及び学校保健研修会を養護教諭や学校保健関係者に広く呼びかけて、充実した研修会を開催する予定である。また、「がんの教育総合支援事業」については、がん教育研修会や推進校において実践的な取り組みを進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	児童生徒の朝食欠食率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		1.4	1.3	1.2	1.1	1.0		
進捗状況	1.4	1.4	1.5	1.6	1.7			
指標2	給食の残食量の減少(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		3.20	3.15	3.10	3.05	3.00		
進捗状況	2.80	2.70	3.30	4.20	2.70			
指標3	スクールランチ利用率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		68.7	68.7	69.2	69.6	70.0		
進捗状況	68.7	69.3	68.9	68.4	67.4			
指標4	地場農林水産物の使用率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		15.8	15.8	15.8	15.9	16.0		
進捗状況	15.8	16.7	16.6	16.0	15.6			
指標5	おはよう朝ごはん料理講習会実施か所数(か所)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		36	37	38	39	40		
進捗状況	34	39	39	38	33			
指標6							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「食に関する指導」推進事業		
R1事業計画	R1事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○食育指導者の派遣</li> <li>○研究推進校の指定(4校, R1-2)</li> <li>○栄養教諭等研修会の開催</li> <li>○食に関する指導研修会の実施</li> </ul>		
当初予算額	351 千円	決算額 千円
構成事業2「学校と家庭との連携強化事業		
R1事業計画	R1事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○食育ミニフォーラムの開催(11月・12月)</li> <li>○親子料理教室の実施(各学校)</li> <li>○給食・学校だよりの発行(各学校)</li> <li>○保護者対象の懇談会の開催</li> </ul>		
当初予算額	32 千円	決算額 千円
構成事業3「スクールランチ運営事業		
R1事業計画	R1事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○食育指導者派遣</li> <li>○試食会の開催</li> <li>○リクエスト及び募集献立の実施</li> <li>○スクールランチ運営委員会・食育推進部会</li> </ul>		
当初予算額	872 千円	決算額 千円
構成事業4「学校給食の充実事業		
R1事業計画	R1事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地産地消の推進</li> <li>○完全米飯給食の実施</li> </ul>		
当初予算額	0 千円	決算額 千円
構成事業5「家庭教育振興事業(おはよう朝ごはん料理講習会)		
R1事業計画	R1事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝ごはん料理講習会の実施</li> </ul>		
当初予算額	308 千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,365 千円	H27	1,606 千円
H28	2,228 千円	H28	1,111 千円
H29	2,287 千円	H29	1,504 千円
H30	1,702 千円	H30	1,172 千円
R1	1,563 千円	R1	千円
合 計	10,145 千円	合 計	5,393 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○「食に関する指導」推進事業については、食育指導者を派遣し、栄養士が配置されていないスクールランチ実施校において、中学生の年代に合わせた食育を行うことができた。研究推進校の指定については、令和元年度に小中4校を指定し、1か年目となる今年度は弁当の日のほか、体験型の活動を取り入れながら食育効果をあげる研究に取り組んでいる。

○学校と家庭との連携・協力事業については、各学校で給食だよりや学校だより等による食育啓発のたよりの発行を行っており、保護者対象の懇談会や給食試食会を開催するなど家庭との連携を図った。食育ミニフォーラムは11月及び12月に開催する予定である。

○中学校スクールランチ運営事業については、食育指導者の派遣を12校で16回行い、朝食の大切さと中学生の栄養・スポーツ栄養と食事・受験期の栄養と食事についての講演会を実施し、生徒が自分の食生活を見直すきっかけとなった。保護者対象のスクールランチ試食会は10校で実施。栄養バランスの整った給食を食べることにより、適切な中学生の栄養摂取について理解を深めてもらうことができた。スクールランチ運営委員会と食育推進部会を各1回ずつ開催し、食育推進部会では残食を減らす取組や、学校における食育活動の実践について情報交換を行い、今後の運営改善に役立てることができた。

○学校給食の充実事業については、引き続き完全米飯給食を推進し、学校給食において日本型食生活を実践した。市内産の給食食材の使用率向上について農林水産部や各区役所と連携し地場産給食事業を各学校や給食センターで行っているほか、市場と連携し汎用性の高い馬鈴薯やたまねぎなど市内産青果物の斡旋を各学校や給食センターに対し行った。また、標準献立には毎月2回(7月から12月は月3回)「地場産推奨献立」を取り入れ、地場産使用率の向上に努めている。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○「食に関する指導」推進事業については、引き続き学校の要請に応じて食育指導者を派遣し、学校における食育の推進を図っていく。また、11月には各校の給食主任を対象に行い、研究指定校のこれまでの取組について発表を行う。これにより各校の食育の取組に役立ててもらうこととする。

○学校と家庭との連携・協力事業については、食育ミニフォーラムを黒崎中学校で11月に、光晴中学校で12月にそれぞれ開催し、食の大切さを学習するなど保護者や地域を巻き込んだかたちで食育効果を高めていく。また、引き続き給食だよりや学校だよりの発行等を通じて家庭との連携を図っていくほか、研究指定校については、2月の市学校給食会の理事幹事会において研究成果を発表し、他の学校と成果を共有していくこととしたい。

○中学校スクールランチ運営事業については、引き続き食育指導者派遣や試食会を実施し、食の大切さについて理解を深めていきたい。また、食に対する関心を生徒からより持ってもらうため「リクエスト献立」を11月に、生徒が考えた献立を給食にする「募集献立」を2月に実施し、スクールランチへの理解と利用促進を図る。2月に第2回スクールランチ運営委員会を開催し、さらなる改善を図っていく。

○学校給食の充実事業については、これまで同様完全米飯給食を推進し、学校給食において日本型食生活を実践する。市内産の給食食材の使用率向上について、引き続き農林水産部等関係部署と連携していくほか、12月までの間は地場産食材を多く取り入れた地場産推奨献立を月3回実施するなど、地産地消の推進を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	継続支援終了者(延べ人数)→H30～継続支援終了者の割合						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		22	32	42	20	35		
進捗状況	12	36	42	56	64			
指標2	若者支援者養成講座修了者(延べ人数)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		101	101	191	231	231		
進捗状況	71	131	191	191	227			
指標3	中央育成活動回数(回)→H29～中央育成活動及び地域との合同育成活動回数(回)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		184	368	612	828	1,044		
進捗状況	171	275	515	759	969			
指標4	わたしの主張大会参加校(校数)→H29～わたしの主張大会参加団体数(団体)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		19	21	20	21	23		
進捗状況	17	18	17	20	24			
指標5	子ども向け体験活動事業参加者数(人)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		21,300	21,300	21,300	21,300	21,300		
進捗状況	21,011	20,516	20,365	19,670	18,782			
指標6	青少年の居場所設置か所数(か所)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		19	19	19	19	19		
進捗状況	19	18	19	19	19			
指標7							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 若者支援事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○若者支援センター事業 ・相談事業 ・若者の社会参加及び自立支援事業 ・居場所の運営		
当初予算額	5,688 千円	決算額 千円
構成事業2 非行防止対策事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○街頭育成活動 ○社会環境浄化活動 ○非行・被害防止キャンペーン		
当初予算額	3,228 千円	決算額 千円
構成事業3 青少年健全育成事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○青少年関係団体の育成及び活動への支援 ○わたしの主張大会開催		
当初予算額	2,718 千円	決算額 千円
構成事業4 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○土日や長期休業期間に集団活動や様々な体験活動事業の実施		
当初予算額	1,983 千円	決算額 千円
構成事業5 青少年の居場所づくり事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○公民館の講座室またはスペースを「子どもの居場所」として開放 ○長期休業中などの学習室の開放		
当初予算額	186 千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	21,243 千円	H27	18,826 千円
H28	18,629 千円	H28	16,528 千円
H29	17,318 千円	H29	15,393 千円
H30	15,098 千円	H30	13,805 千円
R1	13,803 千円	R1	千円
合 計	86,091 千円	合 計	64,552 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○青少年への相談や自立に向けた事業においては、新潟市若者支援協議会全体会を5月に開催し、関係機関の連携強化を図った。新潟市若者支援センター「オール」の令和元年度8月末現在の面接相談実績の述べ件数は184件であった。若者の複雑・困難な問題解決、リファーマ（外部機関へのつなぎ）を行うとともに、居場所ではユースアドバイザーが利用者に寄り添うことで若者の成長や自立につながった。また、高校生活に困難をかかえている生徒への支援を行う「いいがた若者自立応援ネット」では教職員、PTAとの研修会を設け理解を深めるとともに、相談及び定例会を確実に運営し、社会的自立・職業的自立を図った。

○平成31年4月に、新たに青少年育成員34名を非常勤職員に委嘱し、非行防止対策の中心施策として街頭育成活動を実施している。新潟駅・万代シテイ周辺を中心に活動を行っており、店舗事業主や各交番との連携を一層深めながら、年間を通して青少年の見守り活動を実施している。上半期は、102回(9月末)実施した。また、学警連と連携して、夏季休業中にイオン新潟南店の巡視を3回実施した。集約した情報を各地区学警連や中高生徒指導主事連絡会に提供する等、各機関との連携を推進した。青少年育成員に対して、8月末までにリーダー会議2回、研修会1回を実施し、資質の向上及び情報の共有を図った。

○7月～8月を「新潟市非行・被害防止強調月間」とし、重点的に啓発活動を実施した。「インターネットの正しい利用」「万引きの防止」を最重要課題に設定し、市内小中学生に標語・ポスターを募集(729点の応募)、啓発グッズの作成・配布を実施した。7月7日(日)の非行・被害防止街頭キャンペーンには、関係団体の大人・子ども合わせて約160名が参加し、新潟駅や万代シテイ周辺で啓発うちわを配布する等、非行・被害防止に向けた意識を高め、市民に向けた啓発を充実させた。

○青少年関係団体の育成及び活動への支援として、わたしの主張新潟市地区大会を開催し、市内25団体(15中学校+11地区育成協議会)1,430名の応募の中から12名の発表を行った。中学生は自分や他者、地域社会をよりよくしていこうとする意欲や実践力を高めること、市民は中学生への理解や関心を深め、青少年の健全育成の機運を高めることに寄与した。

○7月に実施した社会環境実態調査では、調査員延べ146名が市内全域の店舗・コンビニなどを回り、有害図書類等の調査を行った。この結果を基に、有害環境の把握・改善に努めた。

○学校が休みになる土日や夏休みなどの長期休業期間に、集団活動やキャンプなどの野外活動、ものづくりなどの体験活動事業を実施し、異年齢や異なる学校の子どもたちとの活動を通して社会性を育み、健全育成を図った。また、公民館の空きスペースを活用して、安全で安心して過ごせる子どもたちの居場所や夏休み期間中に講座室を開放して学習室として提供した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○若者支援センター「オール」での相談・居場所・事業の3本柱の充実を図り、支援を行い、困難な状況を有する若者の課題解決、成長及び自立を図る。また、スーパーバイズ研修等を活かし、相談スタッフの資質の向上やYA(ユースアドバイザー)の研修を実施し、若者の自立支援や青少年の健全育成に必要な知識やスキルを身に付けた人材を育成していく。

○青少年の健全育成については、引き続き青少年育成員による街頭育成活動を実施する。また、育成活動の充実や市民への啓発の観点から、各地区育成協との合同育成活動や市民向け体験育成活動を企画・実施する。

○青少年関係団体の育成及び活動への支援として、青少年育成協議会の研修会を開催し、青少年育成団体指導者の育成を図る。また、会報を発行し、学校やコミ協、地区住民等へ広く配布し、青少年育成団体事業の周知や活性化を図る。

○社会環境実態調査において明らかとなった結果を分析・考察し、ホームページ等で公表する。

○土日や長期休業期間を利用して、自然体験や生活体験など様々な体験事業を開催し、子どもたちの健全育成を図る。また、年間を通じて公民館で安全に安心して過ごせる場所を提供していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)					R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	5,081	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
進捗状況	5,081	6,663	6,509	6,101	6,293			
指標2								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 伝統文化の体験学習	
R1事業計画	R1事業成果
○地域の伝統・文化の体験と次世代への継承	
当初予算額	1,173 千円
決算額	千円
構成事業2	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
当初予算額	千円
決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,725 千円	H27	1,678 千円
H28	1,798 千円	H28	1,266 千円
H29	1,803 千円	H29	1,180 千円
H30	1,448 千円	H30	821 千円
R1	1,173 千円	R1	千円
合 計	7,947 千円	合 計	4,945 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○南区の大凧合戦などの地域の伝統行事や様々な文化芸術活動を体験することにより、子どもたちが伝統行事や文化芸術の素晴らしさを継承することの必要性を知ってもらう機会とした。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○子どもたちに伝統文化の素晴らしさを伝え、地域を深く知り愛着心を育むことができるよう、地域の伝統文化を体験する機会を提供していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		75.0	75.0	82.0	80.0	75.0		
進捗状況	74.5	73.8	81.1	78.2	74.0			
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		56.5	56.5	57.0	61.0	60.0		
進捗状況	56.0	54.6	56.7	60.6	59.1			
指標3							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 外国語指導助手(ALT)配置事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○市立全小・中・高・中等教育学校へのALTの配置 ○ALTの資質向上に向け定例研修会を実施		
当初予算額	49,263 千円	決算額 千円
構成事業2 国際交流推進事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○受入: ロシア ハバロフスク市・ビロビジャン市児童生徒15名・引率者4名 ○派遣: 中国ハルビン市(児童生徒10名・引率者3名), 韓国ウルサン広域市(児童生徒10名・引率者3名)		
当初予算額	2,629 千円	決算額 千円
構成事業3 外国語教育支援事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○小中高連携をテーマにした授業改善の研究と公開授業の実施 ○生徒, 教員の英語力向上を目指した外部試験受験補助 ○外国語教育マネジメント研修の実施		
当初予算額	1,371 千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	51,712 千円	H27	72,736 千円
H28	65,240 千円	H28	63,893 千円
H29	49,558 千円	H29	49,011 千円
H30	48,765 千円	H30	47,244 千円
R1	53,263 千円	R1	千円
合計	268,538 千円	合計	232,884 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○国際交流受入事業では、7月20日～27日にロシアのハバロフスク市から10名、ビロビジャン市から5名の児童生徒を受け入れた。国際子どもフォーラム、学校訪問やホームステイ等の交流を通して、本市児童生徒のロシアに対する理解が深まった。

○国際交流派遣事業では、10月1日～5日に韓国ウルサン広域市へ10名の児童生徒が、10月28日～11月1日に中国ハルビン市へ10名の児童生徒が派遣予定である。派遣に向けて、事前研修会を行い、実りある派遣となるよう着々と準備を進めている。

○ALT研修会において、具体的な事例を挙げて課題の共有と改善案の検討を行い、授業改善を推進している。

○外国語教育マネジメント通信を通じて、小・中・高等学校における新学習指導要領の全面実施に向けた情報提供を行ったり、好事例を紹介したりし、追実践を促した。

○小中高の連携を高め、好事例の共有と実践を推進するため、小中においては研修協力校を中学校区で指定したことにより、課題の共有と改善案の検討が円滑に行われている。高校段階では、中等教育学校後期課程を新たに研修協力校として、統合的な言語活動を通して発信力の向上を目指す取組を推進することにより、思考力・判断力・表現力の育成を図る授業改善を推進している。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○国際交流派遣事業では、10月1日～5日に韓国ウルサン広域市へ、10月28日～11月1日に中国ハルビン市へそれぞれ10名の児童生徒を派遣する。学校訪問やホームステイを通して友好親善を図る。

○派遣された児童生徒が書いた報告文は、報告文集にまとめ、市立各校や市内の各教育機関へ配付し、国際交流に対する理解を広める。

○ALT研修会を活用し、具体的な事例を基にした課題の共有と改善案の検討の継続により、授業改善を推進する。

○小学校外国語研修や、小中高の児童生徒の発信力強化のための英語指導力向上推進事業の公開授業、外国語教育マネジメント研修を通して、小中高の連携を高め、思考力・判断力・表現力の育成を図る授業改善を推進する。

○小学校8区にそれぞれ2名ずつ配置した外国語活動、外国語専科教員の好事例等を紹介し、新学習指導要領の全面実施に向け、評価のねらいと実際について共有し、実践を通して理解を深めていく。

● 推進委員からの意見・要望等



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
R1	0 千円	R1	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○教職員の指導スキルの向上を図る研修会を5月14日～16日の3日間実施した。ICT機器を活用した協働型・双方向型の授業が実践されるように、ICT機器の更新等、学習環境の整備について、関係課等と連携して取り組んだ。

○上半期は、学校訪問を通じて主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けてきた。その結果、教職員一人一人に「アクティブ・ラーニング」を進めることで社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができるという意識を高めることができた。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○令和2年度から全面実施となるプログラミング教育について、使用教科用図書に沿った年間指導計画や実践事例を全校に提供し、ICT機器の操作説明会を通して身に付けた指導スキルが発揮されるような学習環境の整備に努める。

○さらに学校訪問等を通じて、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	20.0	50.0	80.0	85.0	100.0		
進捗状況	-	42.5	72.0	85.0	91.0			
指標2	教育委員会から、各校に向けて環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						R1評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	1	1	1	1	1		
進捗状況	1	1	1	1	1			
指標3	環境教育事業の実施						R1評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	実施	実施	実施	実施	実施		
進捗状況	-	実施	実施	実施	実施			
指標4	太陽光発電及び蓄電池設備の設置校(累計)						R1評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	11	16	19	20	20		
進捗状況	7	12	18	20	20			
指標5	停電時、非常電源としての実地体験(回)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	5	5	5	5	5		
進捗状況	-	5	5	5	5			
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業(再掲)【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○持続可能な開発のための教育の啓発 ○学校訪問等を通じた指導・助言		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 環境学習の充実		
R1事業計画	R1事業成果	
○環境学習への支援 ○環境学習発表会		
当初予算額	1,200千円	決算額 千円
構成事業3 環境教育事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○地域住民向け環境教育事業や子ども向け環境教育事業の実施		
当初予算額	168千円	決算額 千円
構成事業4 学校施設エコスクール化推進事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○5校で施設の実地体験実施		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115,821 千円	H27	95,399 千円
H28	126,904 千円	H28	122,407 千円
H29	51,783 千円	H29	47,145 千円
H30	1,388 千円	H30	1,295 千円
R1	1,368 千円	R1	千円
合 計	297,264 千円	合 計	266,246 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○上半期は、学校訪問を通じて主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けてきた。その結果、「アクティブ・ラーニング」を進めることで、子どもに社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができる、という意識を教職員一人一人にもたせることができた。また、ようやく、ESD(持続可能な開発のための教育)の概念が各教職員に浸透してきている。

○環境教育の一層の推進を図るため、小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、希望校1校(早通小)指定校9校(岡方第二小, 東中野山小, 笹口小, 有明台小, 東曾野木小, 阿賀小, 小林小, 青山小, 巻南小)が事業を推進している。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(有明台小, 阿賀小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。さらに、今年度は、水俣市から新潟への受け入れも行った。その際の代表校2校(巻南小, 小林小)を推薦し、交流学習を行った。

○子どもたちが、緑豊かな環境の中で、自然とかかわり合う体験をおして学ぶことができるよう「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」を案内・募集し、8校(濁川中, 山の下小, 桃山小, 関屋中, 早通小, 小合中, 矢代田小, 根岸小)が事業を推進している。

○太陽光発電及び蓄電池設備が設置されている施設での、関係者の実地体験研修に着手した。

○地域住民向けの自然観察会やクリーン作戦などの環境美化活動を開催し、身近な自然や環境を考える機会とした。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○さらに学校訪問等を通じて、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けていく。また、広報等でもESD(持続可能な開発のための教育)の概念の理解を広め、他課(環境政策課)とも連携を図りながら進めていく。

○今年度の「地域の特色を活かした環境学習支援事業」推進校を指導、支援するとともに、次年度のモデル校指定に向けて、新規モデル校の指定を働き掛けていく。

○「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の各実践校から報告書を集約し、次年度への取組に活用する。

○太陽光発電及び蓄電池設備の実地体験研修を確実に実施する。

○地域住民に向けた自然観察会やリサイクル教室などの環境事業を開催し、身近な環境や自然について考える機会を提供する。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0		
進捗状況	85.0	81.8	82.1	85.0	91.4			
指標2							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標3							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標4							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標5							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標6							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標7							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標8							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 日本語指導協力者派遣事業 外国人児童生徒への支援体制の整備【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○日本語指導協力者の派遣 ○母語が分かる支援者の派遣 ○協力者連絡会, 研修会の実施		
当初予算額	2,400 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,429 千円	H27	2,042 千円
H28	2,142 千円	H28	2,095 千円
H29	2,142 千円	H29	2,107 千円
H30	2,114 千円	H30	2,108 千円
R1	2,400 千円	R1	千円
合 計	10,227 千円	合 計	8,352 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○各校から要請のあった児童生徒56名(34校)に対して、延べ29名の日本語指導協力者を派遣した。派遣回数は、児童生徒の日本語能力の実態及び、予算から算出できる派遣可能な回数内で調整している。母語が分かる協力員の派遣も継続して行った。

○帰国・外国人児童生徒の増加による日本語指導協力者の不足を解消するため、市報による公募を行い、登録者のリストを整理した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○年度途中に転入してくる児童生徒を把握し、派遣回数を調整する。

○指導における成果と課題を把握し、派遣体制だけでなく、指導内容の効果などについても分析し、来年度以降の派遣、研修体制を整える。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		
進捗状況	1,500	1,616	1,585	1,749	1,460			
指標2	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 インクルーシブ教育システム構築の推進事業【新規】			
R1事業計画		R1事業成果	
○管理職研修, 合理的配慮セミナーを開催 ○特別支援学級の新設 ○必要に応じて特別支援教育支援員及び学校看護師を配置			
当初予算額	464,674 千円	決算額	千円
構成事業2			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	324,598 千円	H27	456,801 千円
H28	377,487 千円	H28	425,797 千円
H29	405,454 千円	H29	462,193 千円
H30	497,199 千円	H30	469,965 千円
R1	464,674 千円	R1	千円
合計	2,069,412 千円	合計	1,814,756 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○特別支援教育管理職研修を1回実施。合理的配慮セミナーは1回実施した。全校体制で支援ニーズのある子どもへの「合理的配慮」のあり方について研修を行うことができた。

○支援を配置基準に従って配置。学校看護師は、対象の児童4名に対して学校看護師を配置。支援ニーズに応じた人的な支援を充実することができた。

○明鏡高等学校の通級指導教室について、運営、指導・支援についての評価を行い、引き続き、より生徒への支援が充実するように努めることができた。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○教務主任悉皆の合理的配慮セミナーと、専門的な知識が得たい教職員向けの合理的配慮セミナーを実施する。特別支援教育に関する課題を受けて、教育課程や喫緊課題である愛着に問題のある児童生徒に対する理解と指導について研修を行う。前者は、ワークを取り入れながら実務的な内容に、後者は、児童生徒理解に重きを置き研修を行う。

○人的支援について、必要に応じて配置状況などを確認し、人的な支援が一層充実するようにする。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 合理的配慮のデータベース件数(累計)							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	45	60	75	90	100			
進捗状況	40	49	63	82	100			
指標2							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標3							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標4							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標5							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標6							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標7							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標8							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 特別支援教育サポートネットワーク事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○特別支援教育ボランティアの募集と配置 ○大学教員・福祉関係者を講師とした講座を開催		
当初予算額	705 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	8,320 千円	H27	10,578 千円
H28	1,120 千円	H28	1,105 千円
H29	980 千円	H29	982 千円
H30	635 千円	H30	572 千円
R1	705 千円	R1	千円
合 計	11,760 千円	合 計	13,237 千円

注:再掲事業分を含む

●R1年度の上半期の取組に対する評価

○特別支援教育サポートセンターを核として、学校園、保護者の相談支援に当たっている。実績は以下のとおりである。8月現在。  
 【学校園からの支援依頼による訪問支援:137件】【保護者との面談:98件】【電話相談:10件】【各種アセスメント:67回】【校内研修支援(講師派遣):5回】

○特別支援教育サポートセンター、区教育支援センター、地区特別支援教育コーディネーター(発達通級指導教室担当者)を核として、サポートネットワークを構築し、多様な視点から小中学校の支援に努めている。特に、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対して、個別の指導計画、教育支援計画の作成・活用を通じて、課題と支援の方向、具体策を明らかにし、きめ細かい支援を継続して行っている。

○東特別支援学校においては、夏季休業中に新潟市障がい者夜間休日相談支援事業 夜間・休日コールセンター「らいとはうす」細井聡仁主任コーディネーターを講師とし、『強度行動障がい児・者の支援について』を演題に公開講座を行った。東特別支援学校職員の他、市内小中学校、特別支援学校教諭39名が参加した。

○西特別支援学校においては、新潟大学教育学部入山満恵子准教授を講師として、『ことばとコミュニケーションの発達とその支援-音声言語が出にくい子どもの事例も踏まえて』を演題に公開講座を行った。西特別支援学校職員の他、市内小中学校特別支援学校教諭25名が参加した。

○合理的配慮データベースの整備については、実態把握調査を終了し、データベース化を進めた。(41追加)

○特別支援教育ボランティアについては、ホームページ、チラシ等により募集を行い、配置を進めた。4月からの新規登録者は5名である。

●R1年度の下半期の取組に向けて

○今後も特別支援教育サポートセンター、区教育支援センター、地区特別支援教育コーディネーター(発達通級指導教室担当者)を核として、サポートネットワークの充実を図り、学校園への支援を継続して行う。

○特別支援教育ボランティアシステムについては、継続して募集、活動を進める。

●推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
Ⅲ型								
指標目標		300	350	310	350	400	5	100.9%
進捗状況	280	331	315	362	446	450		
指標2								
指標目標								
進捗状況								
指標3								
指標目標								
進捗状況								
指標4								
指標目標								
進捗状況								
指標5								
指標目標								
進捗状況								
指標6								
指標目標								
進捗状況								
指標7								
指標目標								
進捗状況								
指標8								
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 早期からの就学支援の推進【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○年間を通じた保護者相談の実施 ○幼稚園・保育園等と連携した「入学支援ファイル」の作成とスムーズな就学支援の実施		
当初予算額	396 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	396 千円	H30	298 千円
R1	396 千円	R1	千円
合 計	792 千円	合 計	298 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○令和2年度就学予定児を対象にした「春季就学相談会」を各区毎に5月に実施し275名の参加があった。7月下旬から8月上旬にかけて「夏季就学相談会」を春と同じく各区毎に実施し、229名の参加があった。就学支援のシステムや就学相談会、入学支援ファイルの内容について、説明会等で市内各園に対し、伝達してきたことが、参加者の増加の一因と考える。

○各区の教育支援センターの特別支援教育担当主事が、就学相談の窓口になり、来所相談や電話相談に対応した。また、随時園訪問を行い、就学児の様子について、実態把握に努めている。

○就学前の保護者・幼児教育・保育・療育・相談機関からの願いと支援情報を学校に引き継ぐための連携ツールである「入学支援ファイル」を、相談会参加の保護者に説明し配布した。

○「入学支援ファイル」活用状況調査において、新入生の「入学支援ファイル」の提出数は446人であり、全新入生の7.3%(前年比+0.4ポイント、一昨年度比+1.6ポイント)が提出している。小学校に「入学支援ファイル」の目的や活用について周知したこと、就学相談会時の保護者への丁寧な説明が増加の一因と考える。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○11月実施予定の「秋季就学相談会」において保護者への情報提供、就学支援を行っていく。

○就学児を対象にした12月の就学支援委員会に向けて、「入学支援ファイル」を基に、区教育支援センター担当主事と連携しながら判断資料の準備を進めていく。

○各区の教育支援センターの特別支援教育担当主事が、相談会参加保護者に対し、必要に応じて、継続的に就学相談を行っていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市一貫教育推進協議会(回)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		発足	3	2	2	2		
進捗状況	-	発足	3	2	2			
指標2	新規パイロット事業実施中学校区数(延べ数)→H29～新潟市にふさわしい小中一貫した教育に取り組んだ中学校区数(延べ数)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		-	4	8	24	40		
進捗状況	-	-	4	8	26			
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						R1評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56	56		
進捗状況	-	55	56	56	56			
指標4	0						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況	-							
指標5	H26						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6	H26						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7	H26						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	H26						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 小中一貫教育パイロット事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○パイロット中学校区における, 独自プログラムの実施と検証 ○小中一貫教育の全市展開に向け, 資料の作成と周知活動の実施		
当初予算額	316千円	決算額 千円
構成事業2 学校間連携推進事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○児童生徒の学習及び生活に関する情報交換 ○中学校区単位の授業・諸活動の交流事業推進		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	114 千円	H27	128 千円
H28	261 千円	H28	187 千円
H29	237 千円	H29	223 千円
H30	301 千円	H30	198 千円
R1	316 千円	R1	千円
合 計	1,229 千円	合 計	736 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○第11回新潟市一貫教育推進協議会(8月20日)において、これまでの「新潟市にふさわしい一貫教育」の進捗状況を報告した。さらに小中一貫教育部会及び幼保小連携部会の報告を行った。その他、来年度以降の協議会の組織改編について検討した。

○小中一貫教育部会(6月27日)では、パイロット中学校区における、今年度の「新潟市にふさわしい小中一貫した教育」の取組について協議を行った。全体協議では、「独自プログラム」の書式を決定し、各中学校区協議では、今年度の取組及び独自プログラム案の検討を行った。今後、各校で先行実施を行い検証する。

○来年度の「新潟市にふさわしい小中一貫した教育」の全市展開に向け、資料を整え、ホームページに掲載した。

○学校間連携推進事業については、研究主任マネジメント研修や校長マネジメント研修において、各校がレポートしてまとめた取組をもとにして、情報交換を行った。新学習指導要領の改訂に伴い、教育課程の編成などについて、その進捗が様々であることから、有意義な研修ができたとのアンケート記述が多く見られた。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○各パイロット中学校区での「独自プログラム」の実施・検証により、資料を完成させホームページに掲載する。

○来年度の「新潟市にふさわしい小中一貫した教育」の全市展開に向け、広報活動による各中学校区への周知を図る。

○学校間連携推進事業に関する研修を2月にも実施する。より実効性のある研修となるために、グループ編成を興味のあるテーマであったり、教育課程編成の進捗状況であったり、それぞれのニーズに応じた実施方法を考えていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		10.0	95.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	-	90.0	100.0	100.0	100.0			
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		10.0	40.0	70.0	70.0	70.0		
進捗状況	-	30.0	72.0	72.0	82.0			
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		27.3	90.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	-	81.2	100.0	100.0	100.0			
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		18.1	63.6	90.0	90.0	90.9		
進捗状況	-	54.5	90.0	90.0	90.0			
指標5							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 幼保小連携推進事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○幼保小連携の推進を図るための情報交換会の実施 ○幼・保と小学校との円滑な接続を見通した教育課程の検討・編成		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 幼保小合同研修会【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○幼保小合同研修会の実施 ○市立幼稚園教育研究協議会の後援		
当初予算額	55千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	42 千円	H27	72 千円
H28	87 千円	H28	81 千円
H29	81 千円	H29	81 千円
H30	60 千円	H30	60 千円
R1	55 千円	R1	千円
合 計	325 千円	合 計	294 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○私立幼稚園・保育園・こども園の研修会と市立幼稚園の研究保育・研修会が相互に案内され、参加することにより、連携が図られた。

○すべての市立私立幼稚園、保育園、こども園の園長及び実務者対象に、アプローチ・カリキュラム作成研修会を実施し、連携について指導・助言したことにより、幼小連携、幼保こ連携が図られた。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○私立幼稚園・保育園・こども園の研修会と市立幼稚園の研究保育・研修会を相互に案内し合い、互いに参加することにより幼・保等の連携を図る。

○幼保小合同研修会として10月に合理的配慮セミナー、11月に市立市之瀬幼稚園を会場とした研修を実施し、幼保小連携の更なる推進を図る。

○幼稚園・保育園・こども園と小学校で、入学に当たっての情報交換を進める。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	外部講師による人権教育、同和教育に関する校内研修を実施した学校数(校:累計)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		85	110	135	160	185	5	103.0%
進捗状況	61	135	213	271	298	307		
指標2	小学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	96.0	98.2	100.0	100.0	100.0			
指標3	中学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	85.0	84.2	100.0	96.4	100.0			
指標4	公民館の人権教育事業の参加者数(人)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		3,200	3,200	3,200	3,200	3,200		
進捗状況	3,341	3,148	3,331	3,791	3,225			
指標5	人権教育研修会の参加者満足度(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	5	111.5%
進捗状況	71.5	95.0	93.0	97.0	87.0	97.0		
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 人権教育、同和教育の推進		
R1事業計画	R1事業成果	
○人権教育、同和教育に関する研修会, 外部講師派遣事業による支援の実施		
当初予算額	150 千円	決算額 千円
構成事業2 男女平等教育の推進		
R1事業計画	R1事業成果	
○男女平等教育推進協議会の開催 ○児童生徒用男女平等教育学習資料を改訂する。各校へデータで配付		
当初予算額	223 千円	決算額 千円
構成事業3 公民館の人権教育		
R1事業計画	R1事業成果	
○女性セミナーや障がい者理解などの人権に関する講座や家庭教育学級における人権講座の開催		
当初予算額	795 千円	決算額 千円
構成事業4 新潟市人権教育研修会		
R1事業計画	R1事業成果	
○人権教育研修会の開催(1回)		
当初予算額	27 千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,945 千円	H27	1,344 千円
H28	1,055 千円	H28	863 千円
H29	867 千円	H29	937 千円
H30	896 千円	H30	1,010 千円
R1	1,195 千円	R1	千円
合 計	5,958 千円	合 計	4,154 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○男女平等教育学習推進研究会を5月と9月に実施した。12人の委員の男女の割合は半分ずつである。現在の男女平等教育学習資料の活用状況を共有し、成果と課題を話し合った。

○令和2年度から10年間使用する男女平等教育学習資料の改訂ワーキングを行った。執筆が進んでいる。

○外部講師による人権教育、同和教育研修会を31校園で実施し、人権問題や同和問題について資料を基にして解説を聞き深く学ぶことができた。

○中学校区60校園による人権教育、同和教育の研修会で、学校支援課指導主事を派遣し、現代的な課題や同和教育資料「生きる」の内容について情報共有を図ることができた。

○男女共同参画を考える女性セミナーや障がい者の理解、人権を考える講座を実施するなど、人権意識の啓発を図った。また、家庭教育学級においても人権や障がい者の理解を考える回を設けて意識啓発を行った。

○7月2日に、市職員や教育委員会職員、教職員(幼稚園含む)を対象に、人権教育研修会を開催。356名が参加し、人権・同和問題へ関心をもち、理解と認識を深めた。講師 中倉茂樹(徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会「止揚の会」事務局、徳島県人権・同和教育講師)

● R1年度の下半期の取組に向けて

○令和2年度から10年間使用する男女平等教育学習資料を完成させ、各校へ配付する。

○越佐にんげん学校への派遣や部落解放研究集会などへの教職員派遣を進め、研修を深めていく。

○人権教育、同和教育担当者研修会を開催し、各学校の年間指導計画を共有したり、外部の方から最新の課題について教えてもらったりする。

○引き続き、女性や子ども、障がい者等の人権について考える講座や講演会を実施し、市民の人権意識が高まるように啓発を進める。

○来年度へ向けて、今年度の人権教育研修会における参加者へのアンケート結果を参考にしながら、関係団体と連携・協力し、より一層職員が人権・同和問題について関心をもち、理解と認識を深められる研修会について検討する。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	世代間交流事業の参加者数(人)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400		
進捗状況	22,459	23,654	23,360	22,525	20,248			
指標2								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8								
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地区別世代間交流事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○地域で実施しているイベントやスポーツ大会を通じて, 世代間の交流が進むよう支援する。		
当初予算額	1,388 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	861 千円	H27	1,049 千円
H28	1,007 千円	H28	1,500 千円
H29	1,442 千円	H29	1,655 千円
H30	1,503 千円	H30	1,324 千円
R1	1,388 千円	R1	千円
合 計	6,201 千円	合 計	5,528 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○地域団体と連携して、地域住民が参加しやすい様々な地域イベントやスポーツ大会などを開催して、地域の世代間交流を促した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○地域団体と連携して様々なイベントを開催することで、地域住民同士の交流促進を支援していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		90.2	90.2	90.2	90.2	90.2		
進捗状況	90.2	94.5	94.4	94.4	97.2			
指標2	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		26.3	26.3	28.0	28.0	29.8		
進捗状況	24.5	24.5	28.1	36.8	28.1			
指標3	家庭教育学級数(講座)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		63	64	68	69	69		
進捗状況	63	68	68	66	65			
指標4							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 家庭教育振興事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○出産前から子どもの成長期に合わせた家庭教育学級の実施 ○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習の出前講座の実施(市立小・中学校)		
当初予算額	10,510 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,100 千円	H27	11,558 千円
H28	11,399 千円	H28	10,827 千円
H29	12,063 千円	H29	11,393 千円
H30	10,660 千円	H30	10,036 千円
R1	10,510 千円	R1	千円
合 計	56,732 千円	合 計	43,814 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○出産前の妊婦を対象としたプレママ学級や乳児期から思春期まで子どもの成長にあわせた家庭教育学級を実施し、子育ての知識や情報、親としての関わり方などを学ぶ機会を提供した。

○市立小中学校と連携して、就学時健診や新入学学校説明会など保護者が集まる機会に、家庭教育の大切さなどについて講演を行う「子育て学習出前講座」の実施を呼びかけた。

○地域団体と連携して、子どもたちの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図るため、おはよう朝ごはん料理講習会の開催を呼びかけ、21団体と開催した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○引き続き、子どもの成長期に合わせた家庭教育学級などの講座を開催すると共に、夫婦で参加し子育ての意識を共有できるような機会を提供していく。

○市立小中学校と連携した子育て学習出前講座を保護者が集まる機会を捉えて実施し、家庭教育の意識啓発を図る。

○おはよう朝ごはん料理講習会を地域団体等と連携して実施し、規則正しい生活リズムや朝ごはんの大切さを啓発していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	子育てフリースペースの開設(か所数)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	13	14	14	15	15		
進捗状況	15	16	18	18	18			
指標2	保育者研修会の出席率(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0		
進捗状況	90.0	92.8	92.6	83.0	94.8			
指標3							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標4							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標5							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 子育て支援事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○子育て支援事業(講演会, 親子遊びなど) ○子育てフリースペースの開設 ○保育者研修会の実施		
当初予算額	1,056 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	873 千円	H27	934 千円
H28	846 千円	H28	759 千円
H29	1,059 千円	H29	1,121 千円
H30	1,174 千円	H30	1,135 千円
R1	1,056 千円	R1	千円
合 計	5,008 千円	合 計	3,949 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○子育てフリースペースを開設して、絵本の読み聞かせや親子遊びを実施することで、子育て中の保護者同士が交流し、保護者の不安や負担感の軽減を図り、親子のコミュニケーションを促進することができた。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○子育て中の保護者を対象としたフリースペースを開設し、気軽に参加できるような親子遊びなどのイベントも定期的で開催していく。また、家庭教育学級等で学習を支える保育者の資質向上を図る目的で、保育者研修会を実施し、子育て中の親を支援する。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 生涯学習相談件数(件)							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		300	310	320	330	340		
進捗状況		297	296	307	326	261		
指標2	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業	
R1事業計画	R1事業成果
○生涯学習の収集・提供及び学習相談 ○パソコン初心者向け講習会 *予算は9-(6)に計上	
当初予算額	0千円
決算額	千円
構成事業2	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115 千円	H27	104 千円
H28	100 千円	H28	101 千円
H29	269 千円	H29	288 千円
H30	203 千円	H30	189 千円
R1	0 千円	R1	千円
合 計	687 千円	合 計	682 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

◎市民の多様な生涯学習活動を支援するため、「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行った。

◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域の人材の有効活用を図るとともに、市民の学習活動の成果を地域社会に還元するためボランティアバンクを設置し、登録されたボランティアの派遣を実施した。また、活用の場を広げるため、地域コミュニティ協議会への情報提供にむけて、各区地域(総務)課と連携を図った。

◎市民の学習活動に関する相談に応じるため、生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供及び学習相談を実施するとともに、同ボランティアのスキルを高めるための研修会や情報交換を行った。

◎パソコン指導ボランティアによるパソコン初心者向け講習会(H31年度よりパソコン若葉Excel編を開設)を実施し、市民の主体的な学習活動を支援するとともに、ボランティアのスキルを高めるための研修会を行った。

● R1年度の下半期の取組に向けて

◎市民の生涯学習活動を支援するため、引き続き「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行う。

◎生涯学習ボランティアバンクに登録した人の活躍の場を広げるため、各区に出向き地域コミュニティ協議会への情報提供を行う。

◎生涯学習ボランティアバンクをホームページ等を通じて周知するとともに、登録者による自主企画講座を実施し、活躍の場の創出と学習機会の提供を行う。

◎上半期に研修会でスキルを高めたパソコン指導ボランティアや、専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	4	101.7%
進捗状況	84.5	122.5	112.5	92.0	92.0	93.6		
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						R1評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施		
進捗状況	-	実施	実施	実施	実施			
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						R1評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施		
進捗状況	-	実施	実施	実施	実施			
指標4	児童書の貸出冊数(冊)(12歳以下の子ども1人あたり)						R1評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		12.2	12.4	13.2	13.1	13.2		
進捗状況	12.1	13.1	13.1	13.0	13.2			
指標5	レファレンス受付件数(件)						R1評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		72,000	72,800	90,000	99,000	94,000		
進捗状況	69,600	83,157	94,580	98,077	93,559			
指標6							R1評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1にいがた市民大学開設事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○基本講座 4講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座		
当初予算額	5,900 千円	決算額 千円
構成事業2 現代的課題を学ぶ公民館事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○青年対象事業, 環境に関する事業, 高齢者問題に関する事業, その他市民ニーズのある事業の実施		
当初予算額	1,859 千円	決算額 千円
構成事業3 学習成果を発表する場の提供		
R1事業計画	R1事業成果	
○文化祭や芸能祭などの開催		
当初予算額	1,398 千円	決算額 千円
構成事業4 子どもの読書環境の整備		
R1事業計画	R1事業成果	
○第三次新潟市子ども読書活動推進計画策定 ○ブックスタート事業の継続およびアンケートの実施 ○赤ちゃんタイムの実施		
当初予算額	3,938 千円	決算額 千円
構成事業5 子どもが読書に親しむ機会の充実		
R1事業計画	R1事業成果	
○子ども・親子を対象とした各種事業 ○「うちどくブックリスト」の作成など, うちどく(家読)推進のための各種事業 ○読み聞かせボランティア入門講座の実施		
当初予算額	372 千円	決算額 千円
構成事業6 仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○ビジネス支援セミナー ○ビジネス融資相談会 ○くらしの情報講座 ○行政書士無料相談会		
当初予算額	1,187 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	18,819 千円	H27	16,964 千円
H28	21,859 千円	H28	16,197 千円
H29	16,810 千円	H29	15,653 千円
H30	13,677 千円	H30	13,362 千円
R1	13,467 千円	R1	千円
合 計	84,632 千円	合 計	62,176 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○にいがた市民大学では、前期講座で講義形式により大学コンソーシアム連携講座を実施したり、市民ニーズを講座企画に盛り込んだりするなど、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設し、市民の学習要求に応えた。

○平成29年度実施の市民大学受講を契機に、平成30年度より始まった受講生による自主活動「プログラミング学習支援・勉強会」の自主グループ化を支援した。同グループは、「大人向けプログラミング勉強会」として、学校の放課後パソコンクラブのボランティア活動に取り組んでいる。

○高齢者の健康や生きがいづくり、退職を控えた世代に地域社会参加への支援事業など、市民ニーズに沿った学習機会を提供した。

○「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施  
 ・ブックスタート事業を継続実施し、家庭での読み聞かせの大切さを伝えるとともに、親子のコミュニケーションづくりのきっかけになるよう働きかけた。また、図書館利用の案内をすることで、子どもへの読み聞かせの支援に図書館を活用するよう働きかけた(8月末現在で2,122人)。また、3歳児健診の会場で、ブックスタートアンケートを実施した。  
 ・「赤ちゃんタイム」を全19館で実施し、子ども連れでも気軽に図書館が利用できるよう環境を整備した。  
 ・「認定子ども司書の活動」を開催し、司書の仕事や本のPOP作りなどを通して、認定子ども司書たちの交流を深めることができた。

○「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」策定準備  
 ・「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」の策定に向けて、有識者会議を2回開催し、庁内推進会議で素案の検討を進めた。

○仕事や暮らしの課題解決のための情報提供事業  
 ・行政書士無料相談会で相続やエンディングノートなど、日常生活の課題解決に役立つ情報を提供するために、中央・亀田・新津・坂井輪で情報提供を行った。(8月末現在で33人)  
 ・日本政策金融公庫の協力により、ビジネス融資相談会を開催した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○にいがた市民大学では、後期講座(2講座)として現地学習などを取り入れた少人数ゼミナール形式を実施する、学んだ成果をレポート集としてまとめ、中央図書館等に配置し、発信するとともに、さらなる学びのために自主グループ化に向けての支援を行う。令和2年度開設講座を企画・立案・決定し、周知を図る。

○次世代を担う若者を対象にして、仲間づくりや異業種交流を目的とした講座を開催し、個々のスキルアップと新しい人との出会いを支援するなど、市民ニーズに沿った学習機会を提供していく。また、公民館利用団体や地区の芸術や美術協会と協働して、文化祭・芸能祭など学習成果の発表の場を提供していく。

○「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施  
 ・ブックスタートの実行委員会や関係者会議を開催し、ブックスタートアンケートの結果を検証し、次年度のブックスタートの充実につなげる。  
 ・「認定子ども司書の活動」の定例化に向けて、検討を進める。  
 ・読み聞かせボランティア入門講座を開催し、新規ボランティアを養成する。  
 ・「うちどくブックリスト」を子育て世代や学校等で配布する。

○「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」策定準備  
 ・パブリックコメントを実施し、計画を策定する。

○仕事や暮らしの課題解決のための情報提供事業  
 ・11月に新潟雇用労働センターと共催し、暮らしの情報講座を開催する。  
 ・新潟市産業振興財団との共催で、企業に関するセミナーを開催する。  
 ・行政書士無料相談会は、継続実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)						R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	41	45	46	52	52	53		
進捗状況	41	51	60	63	64			
指標2							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標3							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標4							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標5							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標6							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標7							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標8							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域課題解決への支援		
R1事業計画	R1事業成果	
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施		
当初予算額	3,107 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,952 千円	H27	3,908 千円
H28	4,758 千円	H28	3,929 千円
H29	5,174 千円	H29	4,470 千円
H30	3,900 千円	H30	3,214 千円
R1	3,107 千円	R1	千円
合 計	21,891 千円	合 計	15,521 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○地域団体等と連携して、高齢化や少子化社会に対応する事業、地域イベントを通じた学校と地域を結ぶ事業を実施した。また、地域住民が自ら地域課題を探り、解決できるよう支援する事業を実施した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○地域の人材育成や絆づくりに取り組むとともに、地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組むための事業を開催し、その活動を支援していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	2,020		
進捗状況	1,210	1,531	1,611	1,664	1,989			
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53		
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49	43			
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27		
進捗状況	-	4	4	24	34			
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		66	67	94	103	120		
進捗状況	66	72	89	103	127			
指標5							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○本事業にかかる3回の研修会の開催(第1・3回研修会は、コーディネーター・地域連携担当教職員対象。第2回研修会は、新任校長対象。) ○新任コーディネーター研修 ○区研修のための研修幹事会		
当初予算額	135,766 千円	決算額 千円
構成事業2 ふれあいスクール事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会、通信で紹介		
当初予算額	30,423 千円	決算額 千円
構成事業3 公民館出前型事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○学校の余裕教室などを会場にして、地域住民を対象とした公民館事業の開催		
当初予算額	0 千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	189,987 千円	H27	184,359 千円
H28	187,454 千円	H28	190,188 千円
H29	182,387 千円	H29	178,105 千円
H30	170,404 千円	H30	167,175 千円
R1	166,189 千円	R1	千円
合 計	896,421 千円	合 計	719,827 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

- ◎学校が地域に開かれ、地域と共に歩むことができるように、地域教育コーディネーターを市立の全ての小・中・中等教育・特別支援学校、及び市立高等学校に配置し、社会教育施設や地域と連携・協働した教育活動を進め、児童生徒の学力向上、社会性の育成、自己肯定感の醸成を図った。
- ◎第1回パートナーシップ事業研修会(5月9日・13日・16日)に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が参加して、地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、地域教育コーディネーターと社会教育施設とのネットワークづくりを促した。第2回研修会(7月31日)では、新任校長を対象として実施した。
- ◎4月の学校マネジメント研修において、地域学校協働活動推進に関する研修を校長に対して行い、5月には地域連携担当職員に対する研修を行った。今後、校長と地域連携担当教職員による教職員への指導・啓発が進み、学校を核とした地域との連携・協働が一層進むと期待される。
- ◎新任コーディネーターの事業理解とスキルアップを図るため、4月に新任コーディネーター研修を開催した。また、新任コーディネーターを支援するため、経験豊富な地域教育コーディネーターをアドバイザーコーディネーターとして各区に配置した。
- ◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を実施した。また、市報・区だより・HPを利用した広報を行った。
  - ・地域と学校ウェルカム参観日をこれまでに3小学校2中学校で開催。(10月1日現在)
  - ・市報や区だよりにより地域等との連携・協働に関する記事やウェルカム参観日に関する記事等をのべ28回掲載。(9月10日現在)
- ◎ふれあいスクール事業は、R1年度上半期67校で実施。また、ふれあいスクール運営主任の第1回研修会に、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や実技講習を行った。(6月実施 参加者211名、うち放課後児童クラブ支援員65名)
- ◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校を決定し、プログラムの内容や方法を検討している。
- ◎各校のふれあいスクールの活動時に訪問し、運営について個別に指導助言を行うとともに、スタッフへの感謝を伝えた。また、各校の運営上の工夫や、子どもに人気のある活動などについて、ふれあいスクールの研修会や各校の運営委員会、運営スタッフ向けの通信で紹介した。
- ◎公民館出前型事業は、パートナーシップ事業と統合した。地域教育コーディネーターと公民館とが協働しながら講座の企画や運営をし、地域団体と連携して家庭教育講演会や体験講座などを実施した。
- ◎公民館が学校、地域教育コーディネーターと連携しながら、防災講座や家庭教育講演会などの様々な公民館講座を学校を会場に実施することで、学校と地域の様々な情報、人材や地域活動を結ぶなど地域のネットワークづくりを支援した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

- ◎本年度の重点である「一層の『重点化』と目標共有の会を経ての『役割分担』」に関する内容をテーマに、学社民融合支援主事と図書館職員も参加する第3回地域と学校パートナーシップ事業研修会を下半期も実施する。
- ◎学校の教育活動を地域等に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を継続する。
- ◎ふれあいスクールの各実施校の取組を一層充実させるために、運営主任や運営ボランティアを対象とした研修を進める。また、各校のふれあいスクールを訪問し、実施について個別に指導助言を行う。
- ◎地域の教育力を活かした子どもの豊かな体験や学びを培うことができるように、多くの学校に参考となるプログラムを作成していく。また、研修会や運営委員会等でプログラムの良さを紹介し、実施校の増加に努める。
- ◎公民館出前型事業では、地域に開かれた学校づくり・地域づくりを充実させるため、学校や地域教育コーディネーターや地域団体と連携して地域住民向けの事業を実施していく。
- ◎学校が地域の核となるように地域に開かれた学校づくりのきっかけとして、地域教育コーディネーターや地域団体、関係部署と連携を図りながら公民館事業を実施していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	16	16	16	16	16		
進捗状況	16	16	16	16	16			
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29～(中学校区数)						R1評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	32	56	28	28	16		
進捗状況	8	32	56	28	28			
指標3	にいがた共育通信(発行回数)						R1評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	4	4	-	-	-		
進捗状況	4	4	4	-	-	-		
指標4	H29～にいがた共育通信を読んで「教育ビジョンの施策内容について理解できた」と回答した人の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	/	-	-	90.0	90.0	90.0		
進捗状況	-	-	-	88.9	94.3			
指標5							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○各区年2回実施		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○市内16中学校区で実施		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業3 教育情報発信事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○新潟市のホームページで情報発信を行う。 ○4月から毎月1回を目途に発信する。 ○学校教育や社会教育の取組紹介のほか、次期教育ビジョンに関する内容を掲載する。		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額		決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	1,232 千円	H28	1,089 千円
H29	1,232 千円	H29	1,066 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
R1	0 千円	R1	千円
合 計	4,110 千円	合 計	3,619 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○区教育ミーティング

・上半期では、区教育ミーティングを各区1回実施した。  
 ・区教育ミーティングでは、令和元年度の教育委員会の施策や、地域と学校パートナーシップ事業、コミュニティスクール制度について情報提供し、施策全般及び「保護者・地域・学校の連携」をテーマとし意見交換を行った。地域で目指す子どもの姿を共有し、育む体制づくりにつなげるため、地域における現状や課題について、参加者と教育委員で活発な意見交換が行われた。

○中学校区教育ミーティング

・上半期では、中学校区教育ミーティングを2中学校区で実施した。  
 ・中学校区教育ミーティングでは、「保護者・地域・学校の連携」をテーマとし、これまで取り組み実践したものについて振り返り、地域で目指す子どもの姿について、これから保護者・地域・学校で連携・協力できることについて、参加者と教育委員で活発な意見交換が行われた。

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を以下のとおり行った。

- 【4月 新潟市就学援助・新潟市奨学金などの紹介 第60号(平成31年4月)】
- 【5月 各校園の特色ある取組の紹介 食育(大鷲小学校) 保健室指導(大形中学校) 第61号(令和元年5月)】
- 【6月 夏季就学相談会の案内 第62号(令和元年6月)】
- 【7月 教育ビジョン第4期実施計画案(パプコメ)のお知らせ 指定都市学校保健協議会の報告 第63回(令和元年7月)】
- 【9月 大好きにいがた体験事業の紹介(岩室中学校・笹山小学校) 第64号(令和元年9月)】
- 【9月 わたしの主張新潟市地区大会、ウェルカム参観日の報告 第65号(令和元年9月)】
- 【9月 生涯学習センターの取組 第66号(令和元年9月)】
- ・毎回アップした時点で、市立校園へ紹介メールを送り、職員へ周知を行った。さらに、学校の取組紹介の記事については、該当校の保護者にも周知してもらうよう働きかけを行った。→各校のメール配信システムでアドレスの一斉送信、学校便りに二次元バーコードの掲載等の依頼を行った。
- ・7月には全市立校園へHPへのリンク(バナー)貼付けのお願い、保護者への配信メールでリンク(HPアドレス)の送信をお願いした。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○区教育ミーティング

・区教育ミーティングは、下半期も各区1回開催し、区ごとのテーマで意見交換を行う。  
 上半期で実施した各区の1回目の教育ミーティングで意見のあった、地域における現状や課題について、課題への取組内容、成果などを、参加者と教育委員で意見交換を行う。

○中学校区教育ミーティング

・中学校区教育ミーティングは同一テーマで、14中学校区で開催する。

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を以下のよう

- に発行する。(予定)
- 【10月 公民館家庭教育学級の取組 第67号(令和元年10月)】
- 【11月 北信越地区学校図書館研究大会報告 中央図書館の取組 いじめ防止フォーラム 第68号(令和元年11月)】
- 【12月 笹山小学校閉校記念式典の報告 新潟市教育の現状紹介 第69号(令和元年12月)】
- 【1月 市民大学25周年特別講座の報告 教育委員会事業の紹介 第70号(令和2年1月)】
- 【2月 新通つばさ小学校開校について 多忙化解消対策の取組 第71号(令和2年2月)】
- 【3月 教育ビジョン第4期実施計画の周知 第72号(令和2年3月)】
- ・上半期同様、ホームページ閲覧に向けての周知を図っていく。
- ・原稿の入稿が遅れ気味なので、締め切り日を明示するとともに、余裕をもって作成するよう各担当に確認していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	2,020		
進捗状況	1,210	1,531	1,611	1,664	1,989			
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53		
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49	43			
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27		
進捗状況	-	4	4	24	34			
指標4	放課後の学習支援をする中学校(校)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56	56		
進捗状況	-	56	56	56	56			
指標5	公民館出前型事業の実施校数(校)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		66	67	94	103	120		
進捗状況	66	72	89	103	127			
指標6	公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		45	46	52	52	53		
進捗状況	41	51	60	63	64			
指標7							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○本事業にかかる3回の研修会の開催(第1・3回研修会は、コーディネーター・地域連携担当教職員対象。第2回研修会は、新任校長対象。) ○新任コーディネーター研修 ○区研修のための研修幹事会		
当初予算額	135,766 千円	決算額 千円
構成事業2 ふれあいスクール事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会、通信で紹介		
当初予算額	30,423 千円	決算額 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○学習支援員連絡会(5月9日)の実施 ○放課後学習教室の運営		
当初予算額	6,182 千円	決算額 千円
構成事業4 公民館出前型事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○学校の余裕教室などを会場にして、地域住民を対象とした公民館事業の開催		
当初予算額	0 千円	決算額 千円
構成事業5 地域コミュニティ活動活性化支援事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施		
当初予算額	3,107 千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	200,939 千円	H27	193,363 千円
H28	199,612 千円	H28	200,474 千円
H29	194,961 千円	H29	188,669 千円
H30	180,486 千円	H30	176,510 千円
R1	175,478 千円	R1	千円
合 計	951,476 千円	合 計	759,016 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

◎【研修とネットワークづくり】第1回パートナーシップ事業研修会(5月9日・13日・16日)に公民館担当職員,図書館職員が参加して,地域教育コーディネーターとの情報交換を行った。第2回研修会(7月31日)では,新任校長を対象として実施した。

◎【情報発信】地域と学校ウェルカム参観日を3小学校2中学校で開催(10月1日現在)実施した。また,市報・区だよりに地域等との連携・協働に関する記事を延べ28回掲載したほか,市公式HPを利用した広報を行った。

◎ふれあいスクール事業は67校で実施。また,ふれあいスクール運営主任の第1回研修会に,放課後児童クラブの支援員も参加し,双方の連携についての研修や実技講習を行った。(6月実施 参加者211名,うち放課後児童クラブ支援員65名)

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため,プログラムの内容や方法を検討している。

◎5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い,今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校がある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

◎公民館出前型事業は,公民館と地域教育コーディネーターと協働しながら講座の企画と運営をし,地域団体と連携して防災講座や家庭教育講演会,夏休みを利用した体験講座などを実施した。

◎公民館が学校,地域教育コーディネーターと連携しながら,防災講座や家庭教育講演会などの様々な公民館講座を,学校を会場に実施することで,学校と地域の様々な情報,人材や地域活動を結ぶなど,地域のネットワークづくりを支援した。

◎地域団体等と連携して,高齢化や少子化社会に対応する事業,地域イベントを通じた学校と地域を結ぶ事業を実施した。また,地域住民が自ら地域課題を探り,解決できるよう支援する事業を実施した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

◎本年度の重点である「一層の『重点化』と目標共有の会を経ての『役割分担』」に関する内容をテーマに,学社民融合支援主事と図書館職員も参加する第3回地域と学校パートナーシップ事業研修会を下半期も実施する。

◎学校の教育活動を地域に発信するため,地域と学校ウェルカム参観日を継続する。

◎ふれあいスクールの各実施校の取組を一層充実させるために,運営主任や運営ボランティアを対象とした研修を進める。また,各校のふれあいスクールを訪問し,実施について個別に指導助言を行う。

◎地域の教育力を活かした子どもの豊かな体験や学びを培うことができるように,多くの学校に参考となるプログラムを作成していく。また,研修会や運営委員会等でプログラムの良さを紹介し,実施校の増加に努める。

◎アフタースクール学習支援員研修会を実施し,新潟市の生徒の状況を踏まえて学習支援に当たれるようにする。各校から提出された計画書に基づいて,全市立中学校に配置された学習支援員(数学及び英語)が,各校の学校担当者との連携のもと,各校の生徒の実態を踏まえた学習支援に取り組めるように,必要に応じて連絡調整を図る。

◎公民館出前型事業では,地域に開かれた学校づくり・地域づくりを充実させるため,学校や地域教育コーディネーター,地域団体と連携して,地域住民向けの事業を実施していく。

◎公民館が学校,地域教育コーディネーターと連携しながら,防災講座や家庭教育講演会などの様々な公民館講座を,学校を会場に実施することで,学校と地域の様々な情報が共有され,人材や地域活動を結ぶなど,地域のネットワークづくりを支援した。

◎地域団体等と連携して,高齢化や少子化社会に対応する事業,地域イベントを通じた学校と地域を結ぶ事業を実施した。また,地域住民が自ら地域課題を探り,解決できるよう支援する事業を実施した。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		2	3	3	4	4		
進捗状況	1	2	3	4	4			
指標2	にいがた市民大学の受講率(%)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	4	102.2%
進捗状況	84.5	122.5	112.5	92.0	92.0	94.0		
指標3	連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		9	9	9	9	9		
進捗状況	9	11	11	10	10			
指標4							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 高等教育機関活用推進事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○文科省事業「生徒の発信力強化のための英語指導力向上事業」を活用した取組の実施		
当初予算額	1,371千円	決算額 千円
構成事業2 にいがた市民大学開設事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○基本講座 4講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座 ※予算は8-(2)に計上		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業3 図書館と教育機関・企業との連携・協力		
R1事業計画	R1事業成果	
○新潟大学附属図書館, 県立図書館との配本ネットワーク及び連携事業の実施 ○団体貸出 ○新潟市と企業との連携事業への参加 (予算は全て別事業)		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,514 千円	H27	6,245 千円
H28	6,328 千円	H28	5,945 千円
H29	12,770 千円	H29	11,622 千円
H30	7,172 千円	H30	6,636 千円
R1	1,371 千円	R1	千円
合 計	34,155 千円	合 計	30,448 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○英語教育改革において、高大接続に係る取組が進む中、授業改善が求められている。文部科学省事業「生徒の発信力強化のための英語指導力向上事業」を活用し、高志中等教育学校の後期課程において、指導と評価の一体化を図るべく、大学の教授を複数回招聘し、様々な指導を受けることができた。特に、英語を用いて何ができるようになるのかという視点からCAN-DORリストの活用が全国的に課題になっているが、生徒にとっても教員にとっても必要なCAN-DORリストとどのようなものなのかについて、大学の教授に様々な質問をし、それらに対して多くの示唆をいただいた。これをもとに、今後授業で活用できるものに改良し、活用していく。

○高等学校通級指導については、明鏡高等学校での自校通級指導の充実に取り組んだ。今後は、市立高等学校において、有効な通級指導の在り方について考えていく必要がある。

○にいがた市民大学では、前期講座で講義形式により大学コンソーシアム連携講座を実施したり、市民ニーズを講座企画に盛り込んだりするなど、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設し、市民の学習要求に応えた。

○平成29年度実施の市民大学受講を契機に、平成30年度より始まった受講生による自主活動「プログラミング学習支援・勉強会」の自主グループ化を支援した。同グループは、「大人向けプログラミング勉強会」として、学校の放課後パソコンクラブのボランティア活動に取り組んでいる。

○新潟大学附属図書館と県立図書館との間で、配本ネットワークを実施し、利用者への本の提供を迅速に行うことができた。また、3館連携事業として秋に記念講演会を開催予定し、その準備を行った。

○企業や民間団体等への団体貸出を行い、地域の身近な場所へ本を提供することにより読書環境の充実に努めた。

○民間企業の地域の魅力を発信するイベントに、図書館司書が読み聞かせやブックトークで協力した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○文部科学省事業「生徒の発信力強化のための英語指導力向上事業」を活用し、大学教授の指導を活かし、授業改善を進める。11月に授業公開を実施し、広く市立学校から参加者を募る。この授業公開に大学の教授を招聘し、協議会等を通して、成果と課題を明らかにし、その後の取組に活かしていく。教育委員会としては、その取組の成果を好事例として、通信等を通して、市立学校に周知し、小中高の連携を深めていきたい。

○高校通級については、市立高等学校での有効な通級指導の在り方、単位や時数など、具体的な運営について協議する。

○にいがた市民大学では、後期講座(2講座)として現地学習などを取り入れた少人数ゼミナール形式を実施する、学んだ成果をレポート集としてまとめ、中央図書館等に配置し、発信するとともに、さらなる学びのために自主グループ化に向けての支援を行う。令和2年度開設講座を企画・立案・決定し、周知を図る。

○引き続き、新潟大学附属図書館と県立図書館との間で配本ネットワークを実施し、連携事業の記念講演会開催に向けて協力していく。

○企業や地域へ団体貸出の登録を増やし、より多くの市民に本を届け図書館のPRに努める。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	学校関係者評価の結果に基づく検討・改善を行った学校の割合(%) (学校関係者評価の結果を公表した学校の割合)						R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標2							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標3							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標4							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標5							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標6							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標7							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標8							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校評価の充実		
R1事業計画		R1事業成果
○学校評価シートの改善と学校評価の定期的実施 ○学校評議員の全学校設置 ○学校マネジメント研修会の開催		
当初予算額	0 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4 千円	H27	23 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
R1	0 千円	R1	千円
合 計	4 千円	合 計	23 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○全学校の学校評価シートの作成は完了した。計画訪問等では、学校評価シートをもとに校長面談を行っている。

○学校評議員の全学校設置は完了した。

○学校マネジメント研修では、新学習指導要領に向けた教育目標の検討を含め、見直しを行った。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○学校評価シートの中間報告の依頼をしている。今後は、内容を確認し、評価・改善ができるように支援する。

○学校評価及び学校評議員は、来年度以降から段階的に始まるコミュニティスクール構想の中に含まれていくことが予想される。今後、コミュニティスクール設置委員会との連携を密にし、学校評議員・学校評価の在り方や体制の見直しを図っていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	生涯学習ボランティアの登録者数(人)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		1,386	1,392	1,175	1,200	1,225		
進捗状況	1,380	1,344	1,154	1,238	1,442			
指標2	公民館活動協力員との協働事業数(本)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		165	165	165	165	165		
進捗状況	140	163	154	166	159			
指標3							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 生涯学習ボランティア育成支援事業			
R1事業計画		R1事業成果	
○生涯学習ボランティアの育成支援 ○生涯学習ボランティアバンクの登録・活用			
当初予算額	203 千円	決算額	千円
構成事業2 公民館活動協力員との協働事業			
R1事業計画		R1事業成果	
○事業企画・運営 ○活動協力員会議			
当初予算額	1,947 千円	決算額	千円
構成事業3			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	3,444 千円	H27	5,309 千円
H28	3,013 千円	H28	5,061 千円
H29	3,755 千円	H29	4,641 千円
H30	3,488 千円	H30	3,981 千円
R1	2,150 千円	R1	千円
合 計	15,850 千円	合 計	18,992 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域人材の有効活用を図るとともに、市民の学習活動の成果を地域社会に還元するためボランティアバンクを設置し、関係機関等に登録されたボランティアを派遣するなど、学びの循環を推進した。ボランティアの活躍の場を広げるため、地域コミュニティ協議会への情報提供に向けて、各区地域(総務)課と連携を図った。ボランティアバンク登録者による自主企画講座の実施に向けて調整・準備を行った。

◎生涯学習ボランティアバンクをチラシ、ホームページ等を通じて周知を図った。

◎総合的に生涯学習ボランティアのスキル向上を図る育成講座の企画・立案を行った。

◎地域の実情やニーズを事業に反映できるように、各公民館で活動協力員と協働して、事業の企画・運営を行った。

● R1年度の下半期の取組に向けて

◎生涯学習ボランティアバンクを市報やホームページ、フェイスブック等を通じて周知を行うほか、各区地域(総務)課や公民館、学校等関係機関と連携して、ボランティアの活躍の場を支援する。また、学びの循環を推進するため、10月～11月に、ボランティアバンク登録者による自主企画講座を実施する。

◎総合的に生涯学習ボランティアのスキル向上を図るため、11月～12月に生涯学習ボランティア育成講座を実施する。

◎引き続き、地域ニーズを把握するために定期的に活動協力員と連携しながら、事業の企画・運営を行っていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		34	68	102	136	166		
進捗状況	8	34	69	102	134			
指標2							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標3							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標4							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標5							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標6							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標7							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標8							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「防災教育」学校・地域連携事業(ふるさと新潟防災教育推進支援事業) 【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○「防災教育」学校・地域連携事業指定校を指定し, 家庭や地域と連携した実践的な防災教育の推進		
当初予算額	9,477 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,600 千円	H27	9,131 千円
H28	11,134 千円	H28	10,689 千円
H29	10,450 千円	H29	9,987 千円
H30	9,847 千円	H30	9,248 千円
R1	9,477 千円	R1	千円
合 計	53,508 千円	合 計	39,055 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○「防災教育」学校・地域連携事業で32校を指定し、各中学校区における防災教育の現状と課題を共有し、小中及び地域と連携した自校化プログラム作成について協議を行っている。

○5月に、防災教育の理念と自校化の定義の共有を図り、新潟県防災教育プログラムの＜教職員ガイド編＞を用いて、防災教育の理念の共有を行い、防災教育の自校化についての説明を行った。また、中学校区単位でのワークショップを行った。その結果、各校の防災教育実践の方向と指導計画自校化のイメージをもつことができるようになった。

○各実践校では、地域と連携した避難訓練を行うなどの取組が行われるようになり、少しずつ地域と連携した取組が広がってきた。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○2月に、今年度の指定校を集めて報告会兼研修会を行う。実際に一年間取組を続けてきた成果と課題を基に、来年度の取組について考えていく。

○指定校に対して、各実践校で、系統的・継続的な防災教育指導計画作成を行い、自校化した計画を継続して取り組めるように研修会や中学校区単位でのミーティングを開催していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	地域と連携した組織的な見守り活動を行っている学校の割合(%)						R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	57.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	57.5	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標2	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域見守り活動支援事業			
R1事業計画		R1事業成果	
○「子ども見守り隊」実施要項の集約 ○スクールガードリーダーによる学校訪問及び安全指導 ○地域の連携の場の実施			
当初予算額	2,016 千円	決算額	千円
構成事業2			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
当初予算額	千円	決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	1,063 千円	H29	1,062 千円
H30	737 千円	H30	5,791 千円
R1	2,016 千円	R1	千円
合 計	3,816 千円	合 計	6,853 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○全ての市立小学校で子ども見守り隊を組織し、児童生徒の登下校の安全確保のために活動している。子ども見守り隊の年度当初のボランティア登録人数は3,274人である。平成29年度末の2,502人、平成30年度末の3,074人と比較して増加している。

○警察官OBのスクールガードリーダーを各区に1名配置し、小中学校の安全点検指導や見守り活動についてのアドバイス等を行っている。

○全ての市立小学校で、登下校時における防犯対策に関する「地域の連携の場」を設定した。これは、学校、保護者、コミュニティ協議会、自治会、子ども見守り隊、警察、教育委員会等の代表が集まり、地域の危険箇所や危険に対する対応策を検討する場である。上半期に約半数の小学校で開催済みである。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○児童生徒の安全な登下校の確保に向けて、各小学校で設定した「地域の連携の場」で確認されたことを活かして、子ども見守り隊の活動の充実を図る。

○スクールガードリーダーによる情報交換会を開催し、学校安全の現状と課題について確認し、その後の活動に生かす。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	市立学校施設の耐震化率(%)						R1評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	-	-	-		
進捗状況	98.0	100.0	100.0	-	-	-		
指標2	H29～市立学校施設の非構造部材の耐震化促進(校)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	16	8	5		
進捗状況	-	-	-	16	8			
指標3	H29～市立学校施設のトイレ改修促進(校)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	13	13	7		
進捗状況	-	-	-	13	13			
指標4							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 改築事業及び大規模改修事業			
R1事業計画		R1事業成果	
○大規模改修事業等で非構造部材の耐震化及びトイレ改修を実施			
当初予算額	1,598,400 千円	決算額	千円
構成事業2			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,669,200 千円	H27	7,333,239 千円
H28	1,382,900 千円	H28	1,273,048 千円
H29	4,861,700 千円	H29	4,562,744 千円
H30	2,644,400 千円	H30	2,442,098 千円
R1	1,598,400 千円	R1	千円
合 計	17,156,600 千円	合 計	15,611,129 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○計画どおりに工事を実施しており安全な学校施設整備が進んでいる。  
 ・外壁改修・ガラス入替えなど非構造部材の耐震化5校(牡丹山小, 曾野木小, 横越小, 大通小, 木戸中)  
 ・洋式化・ドライ化などトイレ改修7校(茨曾根小, 木崎小, 大鷲小, 西川中, 大江山中, 上山中, 牡丹山小)

● R1年度の下半期の取組に向けて

○工事の完了を確認し, 安全かつ快適な学習環境の向上を図っていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合  
 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕  
 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕  
 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕  
 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕  
 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>  
 当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●施策を構成する事業

指標1 就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標2 就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校							R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標3 奨学生(高校～大学院)の採用率(%)							R1評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標4 奨学生(社会人)の採用率(%)							R1評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標5 ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53		
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49	43			
指標6 土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27		
進捗状況	-	4	4	24	34			
指標7 放課後の学習支援をする中学校(校)							R1評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56	56	4	100.0%
進捗状況	-	56	56	56	56	56		
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 就学援助事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○学用品費など就学に係る費用の一部を補助 ○市内小中学校のすべての保護者に「お知らせ」を年2回(4月及び10月)配付		
当初予算額	1,030,657 千円	決算額 千円
構成事業2 奨学金貸付事業(高校～大学院)		
R1事業計画	R1事業成果	
○奨学金の貸付, 返還 ○募集時に学校などの関係機関を通じて案内チラシの配付を行うとともに, 市内の高校を通じて来年度進学予定の高校3年生に案内チラシを配付		
当初予算額	135,391 千円	決算額 千円
構成事業3 社会人奨学金貸付事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○奨学金の貸付, 返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシの配付		
当初予算額	2,400 千円	決算額 千円
構成事業4 ふれあいスクール事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会, 通信で紹介		
当初予算額	30,423 千円	決算額 千円
構成事業5 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○学習支援員連絡会(5月9日)の実施 ○放課後学習教室の運営		
当初予算額	6,182 千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,463,814 千円	H27	1,413,048 千円
H28	1,416,011 千円	H28	1,330,116 千円
H29	1,373,363 千円	H29	1,293,337 千円
H30	1,285,988 千円	H30	1,221,288 千円
R1	1,205,053 千円	R1	千円
合計	6,744,229 千円	合計	5,257,789 千円

注：再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○就学援助は、私立学校も含めて全ての小・中学校で、4月に保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を配付した。児童生徒数57,506人のうち、認定者12,506人の保護者に対して、学校にかかる学用品費や給食費等の一部を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

○奨学金制度は、募集定員98人に対し、83人の申請があった。選考基準を満たす74人を採用決定し、貸し付けを行い、高等教育の機会均等を図った。本市への定住促進を図るため、返還者に「返還特別免除制度」チラシを納付書に同封した。

○社会人奨学金制度は、募集定員5人に対し、1人の申請があり、基準を満たし採用を決定し、キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

◎ふれあいスクール事業は、R1年度上半期67校で実施。また、ふれあいスクール運営主任の第1回研修会に、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や実技講習を行った。(6月実施 参加者211名、うち放課後児童クラブ支援員65名)

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校を決定し、プログラムの内容や方法を検討している。

◎各校のふれあいスクールの活動時に訪問し、運営について個別に指導助言を行うとともに、スタッフへの感謝を伝えた。また、各校の運営上の工夫や、子どもに人気のある活動などについて、ふれあいスクールの研修会や各校の運営委員会、運営スタッフ向けの通信で紹介した。

○5月に、今年度から学習支援員となった方々を含めた43名が参集し、アフタースクール学習支援員連絡会を行った。本事業の概要を説明するとともに、代表者の実践発表やグループ協議を通して、これまでの取組の様子や留意事項について情報を共有できた。学習支援員は、5月下旬に各校での学校担当者との打ち合わせを行い、計画的に講座の運営を行うことができていた。6月から講座を開始した学校もあった。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○就学援助は、私立学校も含めて全ての小・中学校に、改めて10月に保護者全員に「就学援助制度」の周知チラシを配付し、制度周知の強化を図る。

○奨学金制度は、市内の高校を通じて、来年度進学予定の高校3年生に対して、制度チラシを学校を通じて配付し制度周知を図る。

○本市への定住促進を図るため、これから就職を決める来年度の継続貸付者へ「返還特別免除制度」チラシを配付する。

◎ふれあいスクールの各実施校の取組を一層充実させるために、運営主任や運営ボランティアを対象とした研修を進める。また、各校のふれあいスクールを訪問し、実施について個別に指導助言を行う。

◎地域の教育力を活かした子どもの豊かな体験や学びを培うことができるように、多くの学校に参考となるプログラムを作成していく。また、研修会や運営委員会等でプログラムの良さを紹介し、実施校の増加に努める。

○各校から提出された計画書に基づいて、全市立中学校に配置された学習支援員(数学及び英語)が、各校の学校担当者との連携のもと、各校の生徒の実態を踏まえた学習支援に取り組めるように、必要に応じて連絡調整を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合 (%)						R1評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		34.0	68.0	90.0	100.0	100.0		
進捗状況	5.0	34.0	68.0	90.0	100.0			
指標2	教育ネットワークの構築						R1評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		調査・研究	調査・研究	導入方法検討	計画策定	開発		
進捗状況	-	調査・研究	調査・研究	調査検討	計画(案)策定			
指標3							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校ICT環境整備事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○PC教室の端末等機器の更新(タブレット端末含) ○校内LAN用PCの更新(タブレット端末含) ○教職員PCの更新		
当初予算額	873,740 千円	決算額 千円
構成事業2 教育ネットワーク構築事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○教育ネットワーク回線敷設、ネットワーク基盤及び統合型校務支援システム構築		
当初予算額	17,430 千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	750,275 千円	H27	735,201 千円
H28	809,582 千円	H28	796,482 千円
H29	820,428 千円	H29	839,104 千円
H30	874,489 千円	H30	828,503 千円
R1	891,170 千円	R1	千円
合計	4,145,944 千円	合計	3,199,290 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○教育用コンピュータ, 校内LANコンピュータ, 教職員用コンピュータの更新は計画どおりに実施されている。  
 ・教育用コンピュータ 23校 797台(内タブレット736台) 更新作業は12月末までに終了予定  
 ・校内LAN用コンピュータ 21校 63台(タブレットの更新なし) 更新作業は12月末までに終了予定  
 ・教職員用コンピュータ 17校・園 95台 8月30日に更新終了済み

○教育ネットワーク構築事業について, 通信回線事業者の選定を行い, 9月に契約を締結し, 回線敷設業務に着手した。また教育ネットワーク基盤および統合型校務支援システムの構築業務について, 発注に向けた仕様書の作成を行った。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○教育用コンピュータ, 校内LAN用コンピュータの更新を予定どおりに終了する。タブレット端末の設置校が増加することで, ICTを活用した授業が拡大すると思われる。

○教育ネットワーク構築事業のうち回線敷設業務について, ネットワーク基盤および校務支援システムの稼働までに整備を完了する予定である。また, 教育ネットワーク基盤および統合型校務支援システムの構築業務は, 11月に業者選定を行い, 12月上旬の契約締結を予定している。契約締結後は, 構築業務に着手する予定である。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 ボランティア室整備学校(累計校数)							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	43	45	47	57	60	62		
進捗状況	43	46	51	58	60			
指標2							3期進捗	前年度比
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							3期進捗	前年度比
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							3期進捗	前年度比
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							3期進捗	前年度比
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							3期進捗	前年度比
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							3期進捗	前年度比
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							3期進捗	前年度比
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 ボランティア室等の整備		
R1事業計画	R1事業成果	
○新築・大規模改修に伴い2校で整備 ※金額は、大規模改修等の一部につき省略		
当初予算額	0 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
R1	0 千円	R1	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○上半期は、計画どおりに工事は進捗している。  
 ・整備実施2校(新通つばさ小, 木戸中(8月末完了 部分使用検査済))

● R1年度の下半期の取組に向けて

○年度内に完了予定であるボランティア室の整備をすることで、コミュニティの拠点としての学校施設整備を進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	大規模改修整備校数(校)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	14	12	16	8	5			
進捗状況	15	12	6	16	8			
指標2							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標3							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標4							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標5							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標6							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標7							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								
指標8							3期進捗	前年度比
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30			
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 改築・新築, 大規模改修及びその他の老朽改修事業【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○大規模改修工事を5校で実施 ※金額は, 10-(3)と一部重複		
当初予算額	1,356,900 千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,024,400 千円	H27	3,738,300 千円
H28	3,277,000 千円	H28	1,933,387 千円
H29	4,685,900 千円	H29	4,393,474 千円
H30	2,337,600 千円	H30	2,237,695 千円
R1	1,356,900 千円	R1	千円
合 計	15,681,800 千円	合 計	12,302,856 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○計画どおりに工事進捗している。  
 ・大規模改修実施5校(牡丹山小, 曾野木小, 横越小, 大通小, 木戸中)

● R1年度の下半期の取組に向けて

○年度内で工事完了し, より安全で快適な学習環境の整備を目指す。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	生涯学習相談件数(件)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		300	310	320	330	340		
進捗状況	297	296	307	326	261			
指標2	図書館資料予約件数(件)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		694,000	706,000	718,000	731,000	743,000		
進捗状況	643,178	726,836	747,277	740,125	756,056			
指標3	市民一人当たりの図書館資料(雑誌, AVを含む)貸出点数(点)						R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		5.82	5.92	6.02	6.12	6.22		
進捗状況	5.71	5.83	5.67	5.44	5.43			
指標4	郷土資料のデジタルアーカイブ化・国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供						R1評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		試行・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧		
進捗状況	-	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧			
指標5							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定 (原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業(再掲)		
R1事業計画	R1事業成果	
○生涯学習の収集・提供及び学習相談 ○パソコン初心者向け講習会 ※予算は9-(6)に計上		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 図書館サービス向上事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○配本車の運行 ○図書館情報システムの維持管理 ○図書館情報システムの更新 ○「新潟広域都市圏連携協約」に伴う図書館相互利用の継続		
当初予算額	163,825千円	決算額 千円
構成事業3 電子図書館機能の整備【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供 ○新潟県立図書館「越後佐渡デジタルライブラリー」への参加 ○デジタルアーカイブ公開資料の追加(予算は図書館情報システム経費に含まれる)		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	149,308 千円	H27	143,940 千円
H28	114,008 千円	H28	110,821 千円
H29	115,142 千円	H29	112,503 千円
H30	114,270 千円	H30	114,996 千円
R1	163,825 千円	R1	千円
合 計	656,553 千円	合 計	482,260 千円

注：再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

◎市民の多様な生涯学習活動を支援するため、「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行った。

◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域の人材の有効活用を図るとともに、市民の学習活動の成果を地域社会に還元するためボランティアバンクを設置し、登録されたボランティアの派遣を実施した。また、活用を広げるため、地域コミュニティ協議会への情報提供に向けて、各区地域（総務）課と連携を図った。

◎市民の学習活動に関する相談に応じるため、生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供及び学習相談を実施するとともに、同ボランティアのスキルを高めるための研修会や情報交換を行った。

◎パソコン指導ボランティアによるパソコン初心者向け講習会（H31年度よりパソコン若葉Excel編を開設）を実施し、市民の主体的な学習活動を支援するとともに、ボランティアのスキルを高めるための研修会を行った。

○「新潟広域都市圏連携協約」に伴う図書館相互利用を継続した。（新発田市、五泉市、阿賀野市、聖籠町、燕市、胎内市、弥彦村、田上町、阿賀町）

○図書館情報システム更新のため、入札で機器調達を行った。また、図書館情報システムの新しいバージョンについて、保守事業者と設計・開発を行ったり、全館への端末設置の段取りを決めるなど、システム更新の準備を進めた。

● R1年度の下半期の取組に向けて

◎市民の生涯学習活動を支援するため、引き続き「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行う。

◎生涯学習ボランティアバンクに登録した人の活躍の場を広げるため、各区に出向き地域コミュニティ協議会への情報提供を行う。

◎生涯学習ボランティアバンクをホームページ等を通じて周知するとともに、登録者による自主企画講座を実施し、活躍の場の創出と学習機会の提供を行う。

◎上半期に研修会でスキルを高めたパソコン指導ボランティアや、専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を実施する。

○引き続き、「新潟広域都市圏連携協約」に基づき、近隣自治体との相互利用を進める。

○図書館情報システムの機器等を入れ替え、OSを最新化するとともに、年度内に図書館情報システムを新しいバージョンに切り替える。

○「新潟市立図書館デジタルアーカイブ」のページで、新津図書館の7点の郷土資料デジタルデータを公開する。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	85.0	85.0	88.5	90.0		
進捗状況	80.0	87.0	87.5	88.1	91.1			
指標2	マイスター養成熟修了者(名)						R1評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		102	108	110	128	133		
進捗状況	102	103	110	121	128			
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		7	7	7	8	8		
進捗状況	7	7	7	8	8			
指標4							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育関係職員の研修プログラムの一層の充実		
R1事業計画	R1事業成果	
○キャリアステージ研修(法定研修, 若手教師道場, マイスター養成塾等) ○専門研修(組織力向上研修, 授業力向上研修等)		
当初予算額	7,789 千円	決算額 千円
構成事業2 学社民融合研修の推進		
R1事業計画	R1事業成果	
○パートナーシップ事業研修会(3回) ○ふれあいスクール研修会(3回) ○公民館全職員研修 ○生涯学習管理職研修 ○社会教育主事キックオフ研修 ※1項目目, 2項目目の当初予算額は9-(1)に掲載		
当初予算額	143 千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額		決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,167 千円	H27	4,034 千円
H28	6,482 千円	H28	4,792 千円
H29	10,652 千円	H29	8,870 千円
H30	8,699 千円	H30	6,539 千円
R1	7,932 千円	R1	千円
合 計	39,932 千円	合 計	24,235 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○令和元年度上半期に、教育関係職員の研修プログラムとして実施した講座は以下のとおりである。

- ・キャリアステージ研修 24講座 延べ受講者数 2,361人
- ・専門研修 40講座 延べ受講者数 2,028人  
(計 64講座 延べ受講者数 4,389人)

○キャリアステージ研修における初任者研修、若手教師研修及び中堅教諭等資質向上研修については、いずれも過去10年間で最高となる受講者数となったが、これまで大切にしてきた「マンツーマンによる授業づくり」の体制を堅持し、受講者一人一人のニーズに応じた研修を実施した。その結果、講座修了後に実施する受講者の満足度評価では、4段階のA評価の割合が92.4%となるなど、受講者に高い評価を受けた。

○今年度のマイスター養成塾では、平成29年度入塾生3名、平成30年度入塾生7名、令和元年度入塾生4名、計14名が受講している。2年目の受講者に対して各自が抱える課題とその解決策を授業研究が始まる前に協議する場を設けるなど、より効率的・効果的な指導ができるような工夫を取り入れた。一方、マイスター養成に当たる指導主事が所内で月2回の指導主事研修を実施する等、指導側の力量向上を図る取組も継続している。大きな伸びを見せる受講者が目立ち、研修成果は着実に上がっているといえる。

○第1回パートナーシップ事業研修会(5月9日・13日・16日)に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が参加して、地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、地域教育コーディネーターと社会教育施設とのネットワークづくりを促した。第2回研修会(7月31日)では、新任校長を対象として実施した。

○ふれあいスクール運営主任の第1回研修会において、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や実技研修を行った。(6月6日)

○公民館職員の資質向上を図るため、全職員を対象とした研修会の実施に向けて、研修内容を検討した。

○「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」を推進するため、生涯学習関係職員としての専門的知識と資質の向上を図る、生涯学習管理職研修及び社会教育主事キックオフ研修の企画立案を行った。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○上半期と同様、キャリアステージ研修、専門研修とも、受講者の受講満足度の肯定的評価90.0%以上を目標に、内容の精選と重点化、研修形態の工夫などに取り組む。

○マイスター養成塾では、総受講者14名を対象に、認定授業終了時の合格細目割合平均80%以上、または、認定授業終了時の合格細目割合平均が年度当初の授業におけるそれと比較して15%以上上昇した者の割合が75%以上となることを目指し、認定授業までの指導案指導、授業研究等への指導・支援を充実させる。

○本年度の重点である「一層の『重点化』と目標共有の会を経ての『役割分担』」に関する内容をテーマに、学社民融合支援主事と図書館職員も参加する第3回地域と学校パートナーシップ事業研修会、及び新任コーディネーター研修会を下半期も実施する。学校の教育活動を地域等に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を継続する。

○ふれあいスクールの各実施校の取組を一層充実させるために、運営主任や運営ボランティアを対象とした研修を進める。(第2回10月。第3回2月実施予定)また、各校のふれあいスクールを訪問し、実施についての指導助言を行う。

○全公民館職員を対象とした職員研修を11月に開催し、スキルアップと情報共有を行い、公民館職員としての意識向上を図る。

○10月に、新潟市のコミュニティスクールについて学ぶ生涯学習管理職研修を実施する。12月及び1月～2月に、社会教育主事キックオフ研修(基礎編・応用編)を実施する。研修講師の意見及び研修参加者のアンケートを基に、来年度の研修内容を検討する。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	放課後に子どもと接する時間が1週間あたり5時間以上の教員の割合(%)→H30～月当たり平均時間外勤務時間が45時間以下の教職員の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		65.0	66.0	66.0	70.0	70.0		
進捗状況	64.2	65.8	64.9	50.3	63.8			
指標2	教職員の病欠休暇・休職者(30日以上)のうち精神疾患者の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		41.5	41.5	38.0	38.0	41.5		
進捗状況	43.9	42.1	38.9	38.3	44.8			
指標3	支援を要する教職員(人)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		14	14	13	13	14		
進捗状況	15	15	14	14	15			
指標4							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 多忙化解消対策の推進		
R1事業計画	R1事業成果	
○第2次多忙化解消行動計画の推進 ○時間外勤務時間の把握 ○スクールロイヤーによる相談支援 ○管理職を対象にした働き方改革研修会 ○コンサルタントによる事務局業務の見直し ○学校事務支援員の配置等		
当初予算額	18,889 千円	決算額 千円
構成事業2 教職員ヘルスケアシステム		
R1事業計画	R1事業成果	
○教職員健康管理委員会開催 ○職場復帰のための支援体制整備 ○メンタルヘルス相談体制充実 ○職員研修の開催 ○長時間労働者医師面談		
当初予算額	678 千円	決算額 千円
構成事業3 支援を要する教職員の研修		
R1事業計画	R1事業成果	
○対象教職員に対する指導力向上研修の実施 ○指導が不適切な教職員に関する委員会の開催		
当初予算額	108 千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	989 千円	H27	836 千円
H28	968 千円	H28	562 千円
H29	1,121 千円	H29	868 千円
H30	920 千円	H30	820 千円
R1	19,675 千円	R1	0 千円
合 計	23,673 千円	合 計	3,086 千円

注:再掲事業分を含む

●R1年度の上半期の取組に対する評価

○多忙化解消対策の推進  
 ・管理職対象の働き方改革研修会を通して、第2次多忙化解消行動計画の具体的な方策や自校の取組についての認識を深めた。  
 ・全市立学校園の一校一取組を集約し、各学校へ紹介するとともに、学校訪問等での支援に生かした。  
 ・出退校簿の入力フォームを改良し、円滑な教職員の勤務実態の把握に努め、昨年度に比べて時間外勤務時間の減少につながった。  
 ・8月13日から15日の間を「学校閉庁日」、8月8日、9日、16日、19日を「休暇取得促進日」として、教職員の休暇取得の促進に努めた。  
 ・勤務時間外の電話対応の統一ルールを定め、6月より全市の学校園で実施した。  
 ・教員の事務作業の負担軽減を図るため、国のスクールサポートスタッフ配置事業を活用し、学校事務支援員を配置した。

○教職員ヘルスケアシステム  
 ・各種研修を計画通り実施することで、教職員の健康管理に対する意識を高めることができた。  
 (新任管理職研修等、既存の研修に組み入れた研修、職種や経験年数に応じたメンタルヘルス研修)  
 ・健康管理委員会を開催し、教職員の休職の可否や復職の可否等について、病状の検討や判定を行った。委員の助言を勤務校に伝えることで、スムーズな復職への支援の一助とすることができた。  
 ・精神疾患による療養休暇者・分限休職者に対し、職場復帰への準備と再発防止を図るため、職場復帰支援プログラムを行った。  
 ・教職員のための健康相談窓口を開設し、教職員の健康不安の軽減と健康保持増進を図った。  
 ・長時間労働を行った教職員に対して医師による面接指導を行い、教職員の健康障がい防止を図った。

○支援を要する教職員の研修  
 ・学校訪問の際に、支援を要する教職員の状況について確認し、校長と連携して校内研修の充実を図った。  
 ・支援を要する教職員に関する委員会検討したことを踏まえ、研修を行った。  
 ・学校からの要請により、総合教育センター及び学校支援課と連携して支援を要する教職員に対する研修を行い、指導力向上を図った。

●R1年度の下半期の取組に向けて

○多忙化解消対策の推進  
 ・多忙化解消に向けた取組に関する調査を実施する(学校・個人について経年変化を把握)。  
 ・コンサルタントによる事務局職員の研修等とおして、現場の業務負担につながる業務の見直しを行う。  
 ・教職員が目標とする休暇取得が可能になる長期休業中の研修日程を検討し、次年度の研修計画を策定する。  
 ・働き方改革研修会「やろてば新潟フォーラム」を通じた成果の共有と発信を行う。  
 ・多忙化解消検討会において、「第2次多忙化解消行動計画」の進捗について確認し、計画の修正や新たな取組の検討を行う。

○教職員ヘルスケアシステム  
 ・月1回、健康管理委員会を開催し、教職員の休職の可否や復職の可否等について、病状の検討及び判定を行う。委員からの助言を勤務校に伝えて職場復帰を支援する。  
 ・精神疾患による療養休暇者や分限休職者に対し、職場復帰の準備と再発防止を図るため、職場復帰支援プログラムの実施を働き掛ける。  
 ・機会を捉えて、教職員のための健康相談窓口の周知を図る。  
 ・ストレスチェック結果の活用等を含めた、管理職対象のメンタルヘルス研修会を実施する。  
 ・長時間労働を行った教職員に対して、医師による面接指導を実施する。

○支援を要する教職員の研修  
 ・支援を要する教職員に関する情報収集に努め、校長との連携により効果的な支援を進める。  
 ・実施中の指導力向上研修や自己理解研修をさらに進め、対象者の教師力向上を図る。  
 ・支援を要する教職員に関する委員会を開催し、次年度の支援の在り方を検討する。

●推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合  
 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕  
 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕  
 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕  
 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕  
 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>  
 当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	出願倍率(倍)(出願数/採用者数)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		4.2	4.9	3.6	3.1	3.0	5	100.0%
進捗状況	4.1	5.5	4.3	3.4	2.8	3.8		
指標2	女性管理職等(教頭, 主幹教諭, 主任)の割合(%) ※次年度4月1日現在における目標値						R1評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		38.0	38.0	37.0	38.0	40.0		
進捗状況	36.0	35.4	36.3	36.1	36.0			
指標3	マイスター配置校の割合(%)※マイスターのいる市立学校の割合						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		28.0	30.0	33.0	38.0	40.0		
進捗状況	27.8	29.5	32.7	36.0	38.4			
指標4								
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5								
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6								
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7								
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8								
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>  
 I型: 第3期実施計画の5か年分を設定  
 II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定  
 III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
 (原則として前年度設定値以上)  
 IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教員採用選考検査		
R1事業計画	R1事業成果	
○教員採用選考検査の実施 ○翌年度の教員採用選考検査計画案の作成 ○人材確保のための工夫・改善		
当初予算額	3,608 千円	決算額 千円
構成事業2 管理職選考検査		
R1事業計画	R1事業成果	
○管理職選考検査の実施 ○管理職の登用 ○翌年度の管理職選考検査の計画案作成 ○女性管理職の登用・人材育成		
当初予算額	71 千円	決算額 千円
構成事業3 適材適所の人員配置		
R1事業計画	R1事業成果	
○異動方針・基準の周知徹底を図るとともに, 全市的視野に立ち, 校種間の連携を促進するために, 異校種間の異動を積極的に推進 ○学校課題に即した非常勤講師の配置		
当初予算額	16,046 千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,068 千円	H27	13,008 千円
H28	16,250 千円	H28	13,276 千円
H29	20,580 千円	H29	13,998 千円
H30	22,020 千円	H30	12,768 千円
R1	19,725 千円	R1	千円
合計	97,643 千円	合計	53,050 千円

注：再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○教員採用選考  
 ・今年度、採用選考検査の検査内容を精選した。論文、集団面接、小学校教諭・特別支援学校教諭の実技検査の実施を取りやめた。第1次検査が2日間から1日間、第2次検査が3日間から2日間(受検者が受けるのは1日間)とし、受検者の負担軽減を図った。  
 ・特別選考の対象を拡大した。教職経験者特別選考の出願要件となる勤務経験年数を3年以上から3年以上の見込み、社会人特別選考の勤務経験を5年以上から3年以上の見込みとし、即戦力として期待できる出願者の確保を図った。  
 ・障がい者特別選考の対象者の拡大、免許状取得見込みを加点申請の対象とすること、「大学院進学者名簿」への登録者を修了後、検査なしで採用することなども行った。  
 ・以上の結果、出願者が512人となり昨年度の367人より145人増加した。

○管理職選考  
 ・新潟市立学校について管理職選考(校長・教頭等)を実施した。  
 ・受検者数は、校長選考検査受検者 94人(昨年度 98人)、教頭等選考検査受検者 147人(昨年度 167人)。  
 ・令和元年7月30日に第一次検査を実施。検査会場を新潟市総合教育センターとし、円滑に運営ができた。

○教職員の適材適所への配置  
 ・教育ビジョンの基本施策「校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり」に向け、異校種への転配置を一般異動として行った。  
 ・新採用5年目終了者の異動(養護教諭は除く)については、市外勤務に加えて、市内の小・中・高・中等・特支の異校種への異動を積極的に行なった。

○女性管理職の登用  
 ・管理職選考検査の女性受検者の人数：女性受検者数は校長15人(H30)→16人(H31)、教頭23人(H30)→22人(H31)と、昨年度と比較して、校長受検者で1人増、教頭等受検者で1人減となった。

○非常勤講師の配置  
 ・道徳著名人特別非常勤講師、専科非常勤講師(理科、音楽等)、免外解消非常勤講師など各校の課題に応じて非常勤講師を配置した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○教員採用選考  
 ・採用内定者を対象に採用ガイダンスを今後2回実施し、新潟市の教員としての意欲の向上を図るとともに、教員内定者としての服従規律を確保する。  
 ・令和2年度実施の採用選考検査の骨子づくりを行う。  
 ・教員を志望する人材を増やすため、新潟市で教員として働く魅力を多くの世代に広く伝える取組を行う。

○管理職選考  
 ・10月～11月に、民間人面接官を含めた面接を実施するなど、公平性・透明性を確保した第二次検査を実施し、人物重視の登用を行う。

○教職員の適材適所への配置  
 ・10月実施の人事異動方針説明会にて、人事異動方針・基準について、現場への周知徹底を図る。  
 ・人事異動に係る基準を基に、人事異動を円滑に進めていく。  
 ・職住近接を基本に、適材適所の人員配置を行う。  
 ・県との円滑な人事交流を行うために、今後も情報交換を密に行うとともに、人事異動登録票を基に先を見通しながら計画的に進めていく。

○女性管理職の登用  
 ・力量のある女性を、積極的に管理職へ登用していく。

○非常勤講師の配置  
 ・人事異動会議等を通して、各校の課題やニーズを把握し、効果的な非常勤講師の配置を進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	評価者研修受講者の充実度(満足度)が高い人の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	4	104.2%
進捗状況	87.3	88.7	88.0	88.7	88.7	92.4		
指標2	優秀教職員の表彰						R1評価	
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施		
進捗状況	-	実施	実施	実施	実施			
指標3							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教職員の人事評価制度の実施・改善		
R1事業計画	R1事業成果	
○教職員人事評価の実施 ○評価者研修の実施 ○令和2年度に使用する評価シートの検討		
当初予算額	408 千円	決算額 千円
構成事業2 教職員表彰制度		
R1事業計画	R1事業成果	
○被表彰者の選考と表彰の実施		
当初予算額	35 千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	966 千円	H27	934 千円
H28	788 千円	H28	778 千円
H29	563 千円	H29	365 千円
H30	460 千円	H30	185 千円
R1	443 千円	R1	千円
合 計	3,220 千円	合 計	2,262 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○年間で定められた時期に管理職との面談が行われ、教職員一人一人の資質や指導力を発揮できるような目標が設定されている。

○能力態度評価と業績評価による評価制度のシステムが定着し、PDC Aのサイクルが順調に機能している。

○1・2年目の校園長・教頭に対する評価者研修の開催を開催した。(3回)評価の理論と具体的な演習の両面から評価者の意識と力量を高めることができた。

○教育委員会表彰に計23名の推薦があった。選考委員会で10名の表彰者を決定し、表彰式を実施した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○評価シートを活用した教職員人事評価の運用から問題点を洗い出し、評価シートの見直し、改善を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	16	16	16	16	16	16		
進捗状況	16	16	16	16	16	16		
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29~(中学校区数)						R1評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	32	56	28	28	16			
進捗状況	8	32	56	28	28			
指標3							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○各区年2回実施		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催【新規】		
R1事業計画	R1事業成果	
○市内16中学校区で実施		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
R1	0 千円	R1	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○区教育ミーティング  
 ・上半期では、区教育ミーティングを各区1回実施した。  
 ・区教育ミーティングでは、令和元年度の教育委員会の施策や、地域と学校パートナーシップ事業、コミュニティスクール制度について情報提供し、施策全般及び「保護者・地域・学校の連携」をテーマとし意見交換を行った。地域で目指す子どもの姿を共有し、育む体制づくりにつなげるため、地域における現状や課題について、参加者と教育委員で活発な意見交換が行われた。

○中学校区教育ミーティング  
 ・上半期では、中学校区教育ミーティングを2中学校区で実施した。  
 ・中学校区教育ミーティングでは、「保護者・地域・学校の連携」をテーマとし、これまで取り組み実践したものについて振り返り、地域で目指す子どもの姿について、これから保護者・地域・学校で連携・協力できることについて、参加者と教育委員で活発な意見交換が行われた。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○区教育ミーティング  
 ・区教育ミーティングは、下半期も各区1回開催し、区ごとのテーマで意見交換を行う。  
 上半期で実施した各区の1回目の教育ミーティングで意見のあった、地域における現状や課題について、課題への取組内容、成果などを、参加者と教育委員で意見交換を行う。

○中学校区教育ミーティング  
 ・中学校区教育ミーティングは同一テーマで、14中学校区で開催する。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	例規整備やシステム構築などの権限移譲準備						R1評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	人給構築	人給稼働	-	-	-	-		
進捗状況	-	基本計画策定	人給稼働	-	-	-		
指標2	H29～教育行政の効果的・効率的な執行体制の整備と市長部局との連携を図るため、「新潟市総合教育会議」を共同開催						R1評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	-	-	協議・開催	協議・開催	協議・開催	-		
進捗状況	-	-	協議・開催	協議・開催	-	-		
指標3								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 県費負担教職員の権限移譲準備【新規】			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業2 新潟市総合教育会議の開催【新規】			
R1事業計画		R1事業成果	
○市長部局と連携を図り, 教育行政の効果的・効率的な執行体制の整備や, 教育課題に的確に対応することを目的とした年2回の総合教育会議の運営			
当初予算額	0千円	決算額	千円
構成事業3			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
当初予算額	千円	決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	126,415 千円	H27	63,455 千円
H28	174,219 千円	H28	170,308 千円
H29	0 千円	H29	41 千円
H30	0 千円	H30	37 千円
R1	0 千円	R1	千円
合 計	300,634 千円	合 計	233,841 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○総合教育会議  
 ・第1回総合教育会議を開催した。  
 ・令和2年度から始まる「新潟市教育ビジョン第4期実施計画」について、本市の教育ビジョンに掲げた基本目標の実現に向けた考え方や視点、取組について意見交換を行った。  
 ・会議では、第4期実施計画(案)の中心的な考え方である「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成～学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」とそれを実現するための5つの視点について事務局から説明し、教育委員が教育ビジョン第4期実施計画に対する思いや意見を発表した。市長からは、視点に対する各取組への重要性や市長部局との連携の必要性を確認でき、これらを踏まえて次回会議にて本市の教育の大綱案を示すとの発言があった。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○第2回総合教育会議を2月中旬に開催する。  
 ○テーマは「次年度の教育施策」と今年度末に期限を迎える「教育の大綱について」を予定。  
 ○上記以外に議論が必要な課題が生じた場合は、必要に応じて臨時開催を検討する。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	にいがた共育通信(発行回数)						R1評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	4	4	-	-	-	-		
進捗状況	4	4	-	-	-	-		
指標2	H29～にいがた共育通信を読んで「教育ビジョンの施策内容について理解できた」と回答した人の割合(%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	-	-	90.0	90.0	90.0	-		
進捗状況	-	-	88.9	94.3	-	-		
指標3								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育情報発信事業		
R1事業計画	R1事業成果	
○新潟市のホームページで情報発信を行う。 ○4月から毎月1回を目途に発信する。 ○学校教育や社会教育での取組紹介のほか、次期教育ビジョンに関する内容を掲載する。		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	1,232 千円	H28	1,089 千円
H29	1,232 千円	H29	1,066 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
R1	0 千円	R1	千円
合 計	4,110 千円	合 計	3,619 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を以下のとおり行った。  
 【4月 新潟市就学援助・新潟市奨学金などの紹介 第60号(平成31年4月)】  
 【5月 各校園の特色ある取組の紹介 食育(大鷲小学校) 保健室指導(大形中学校) 第61号(令和元年5月)】  
 【6月 夏季就学相談会の案内 第62号(令和元年6月)】  
 【7月 教育ビジョン第4期実施計画案(パブコム)のお知らせ 指定都市学校保健協議会の報告 第63回(令和元年7月)】  
 【9月 大好きにいがた体験事業の紹介(岩室中学校・笹山小学校) 第64号(令和元年9月)】  
 【9月 わたしの主張新潟市地区大会, ウェルカム参観日の報告 第65号(令和元年9月)】  
 【9月 生涯学習センターの取組 第66号(令和元年9月)】

○毎回アップした時点で, 市立校園へ紹介メールを送り, 職員へ周知を行った。さらに, 学校の取組紹介の記事については, 該当校の保護者にも周知してもらうよう働きかけを行った。→各校のメール配信システムでアドレスの一斉送信, 学校便りに二次元バーコードの掲載等の依頼を行った。

○7月には全市立校園へHPへのリンク(バナー)貼付けのお願い, 保護者への配信メールでリンク(HPアドレス)の送信をお願いした。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を以下のよう  
 に発行する。(予定)  
 【10月 公民館家庭教育学級の取組 第67号(令和元年10月)】  
 【11月 北信越地区学校図書館研究大会報告 中央図書館の取組 いじめ防止フォーラム 第68号(令和元年11月)】  
 【12月 笹山小学校閉校記念式典の報告 新潟市教育の現状紹介 第69号(令和元年12月)】  
 【1月 市民大学25周年特別講座の報告 教育委員会事業の紹介 第70号(令和2年1月)】  
 【2月 新通つばさ小学校開校について 多忙化解消対策の取組 第71号(令和2年2月)】  
 【3月 教育ビジョン第4期実施計画の周知 第72号(令和2年3月)】

○上半期同様, ホームページ閲覧に向けての周知を図っていく。

○原稿の入稿が遅れ気味なので, 締め切り日を明示するとともに, 余裕をもって作成するよう各担当に確認していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		R1評価				
	H26	H27	H28	H29	H30	3期進捗 前年度比
指標目標						
進捗状況						
指標2		R1評価				
	H26	H27	H28	H29	H30	3期進捗 前年度比
指標目標						
進捗状況						
指標3		R1評価				
	H26	H27	H28	H29	H30	3期進捗 前年度比
指標目標						
進捗状況						
指標4		R1評価				
	H26	H27	H28	H29	H30	3期進捗 前年度比
指標目標						
進捗状況						
指標5		R1評価				
	H26	H27	H28	H29	H30	3期進捗 前年度比
指標目標						
進捗状況						
指標6		R1評価				
	H26	H27	H28	H29	H30	3期進捗 前年度比
指標目標						
進捗状況						
指標7		R1評価				
	H26	H27	H28	H29	H30	3期進捗 前年度比
指標目標						
進捗状況						
指標8		R1評価				
	H26	H27	H28	H29	H30	3期進捗 前年度比
指標目標						
進捗状況						

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校適正配置の推進	
R1事業計画	R1事業成果
○新潟市立学校適正配置基本方針に基いた学校適正配置の推進	
当初予算額	1,113 千円
決算額	千円
構成事業2	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,261 千円	H27	1,082 千円
H28	1,039 千円	H28	815 千円
H29	1,090 千円	H29	1,078 千円
H30	700 千円	H30	256 千円
R1	1,113 千円	R1	千円
合 計	6,203 千円	合 計	3,231 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進している。主な取組は以下のとおりであり、いずれも概ね順調に進行している。

- ・北区の笹山小学校と木崎小学校の統合においては、両校区の統合実行委員会により準備を進めている。また笹山小学校閉校記念実行委員会では、閉校記念式典に向けた準備を進めている。
- ・西区の新通小学校から分離新設する新通つばさ小学校の開校準備においては、地域住民や保護者、教職員で構成される新通つばさ小学校開校準備委員会にて意見聴取をしながら、制作者を選定し、校歌や校章の制作作業にとりかかっている。また、開校を来年に控え、体操着の選定やPTA組織の立ち上げ、ふれあいスクールの設置、通学路の安全対策の進捗状況の確認や、登下校の見守りの実施などについて検討を行っている。現在、校舎の建設工事等を施工しているが、開校までに必要な物品が揃うよう、購入または他の学校から運び込むものも含め、必要な物品をリスト化し、その取得手段も精査し、関係課と調整しながら準備を進めている。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○上半期に引き続き、新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進する。主な取組は以下のとおりである。

- ・北区の笹山小学校の閉校記念式典を開催するとともに、統合後の木崎小学校の学校運営が円滑に行われるように支援する。
- ・西区の新通つばさ小学校の開校に向けて、校歌・校章を制作し、必要な物品を調達するなど、関係課と協議・調整しながら必要な準備を進める。また、新通小学校の児童とその保護者に来年度から在籍する学校を示し、新通つばさ小学校に通う児童の保護者に対して、学校説明会を開催し、新しい学校の紹介や、学校用品の取り扱いなど、来春からの学校生活に不安が生じないよう、情報を提供する。

○学校適正配置基本方針に基づき、検討が必要と考えられる地域へ、児童生徒数・学級数推計などの情報提供を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●R1施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	指標どおりに概ね達成した施策の割合 (%)						R1評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	R1	3期進捗	前年度比
指標目標	75.0	90.2	85.0	85.0	80.0			
進捗状況	75.0	90.2	84.3	86.3	78.4			
<b>指標2</b>								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
<b>指標3</b>								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
<b>指標4</b>								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
<b>指標5</b>								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
<b>指標6</b>								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
<b>指標7</b>								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
<b>指標8</b>								
	H26	H27	H28	H29	H30		3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育ビジョンの適正な推進		
R1事業計画	R1事業成果	
○教育ビジョン推進委員会を3回実施 ○全54施策の進行管理・評価を実施 ○施策の点検と評価のダイジェスト版を作成・配付		
当初予算額	278 千円	決算額 千円
<b>構成事業2</b>		
当初予算額	千円	決算額 千円
<b>構成事業3</b>		
当初予算額	千円	決算額 千円
<b>構成事業4</b>		
当初予算額	千円	決算額 千円
<b>構成事業5</b>		
当初予算額	千円	決算額 千円
<b>構成事業6</b>		
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	588 千円	H27	609 千円
H28	812 千円	H28	732 千円
H29	553 千円	H29	546 千円
H30	277 千円	H30	317 千円
R1	278 千円	R1	千円
合 計	2,508 千円	合 計	2,204 千円

注:再掲事業分を含む

● R1年度の上半期の取組に対する評価

○6月上旬に、新潟市教育ビジョン第3期実施計画平成30年度施策最終評価を行った。全施策の数値評価の平均は4.02,「NEXT&NEW」の平均は4.14となり、両方とも「評価4」以上を得ることができた。

○指標目標を上回って達成した「評価5」が6施策、指標目標を概ね達成した「評価4」が34施策、両者を合わせると40施策で78.4%となった。施策数やその割合で見ても、目標を超える評価を得ることができたことは、施策が着実に実施され、成果が挙がっていると判断できる。とはいえ、昨年度の全施策平均は4.17,「NEXT&NEW」の平均は4.22であり、昨年度評価5や4であった施策のうち、5つの施策が3や2に下がっている。下がった要因としては、学習指導要領の改訂や、スマホ・SNSの急速な発達などの社会情勢の変化により、5年前に立てた指標目標と実態が合わなくなってきたことが考えられる。各所属において状況分析や改善策を講じ、令和元年度の取組に反映させていく。

○9月に、新潟市教育ビジョン第3期実施計画「NEXT&NEW」の20施策を中心とした「平成30年度施策の点検と評価(ダイジェスト版)」を作成し、市立校園の全教職員や関係機関に配布した。

● R1年度の下半期の取組に向けて

○新潟市教育ビジョン第3期実施計画平成30年度施策最終評価の結果や、それに対する教育ビジョン推進委員会での意見や助言を活かし、下半期での適正な進行管理に努める。

● 推進委員からの意見・要望等